

關稅定率法改正法律案特別委員會議事速記錄第二號

明治四十三年二月十二日(土曜日)午前十時六分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ開會イタシマス

○男爵高木兼寛君 私ハ第二類中ニ掲ゲテアリマス大豆ニ關スルコトニ付キ、昨日御願ヒ申シテ置キマシタ所ノ北海道廳長官ガ幸ニ御出席ノヤウデゴザイマスカラ御尋ラ致シマス、衆議院ヨリ送付ニナリマシタ修正ニ依リマスルト、大豆ニ付イテハ稅率ヲ高メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ申スマデモナイ御承知ノコトデアリマスガ、之ニ付イテ原案ニ贊成スベキカ、修正案ニ贊成スベキカト云フコトハ一ツノ問題デアリマス、ソレ故ニ委シク御尋ラ致スノデアリマス、昨日マデニ承リ得タル所ニ依レバ、内地ノ大豆消費高ハ四百五十万石ト云フコトデアリマス、其内デニ二百五十万石ガ内地ノ產出高デ、百万石ガ外國ヨリ來ルモノデアアル、其價格ノ情況ヲ今日承ル所ニ依レバ、前年ハ七圓グラ井致シタモノガ今日ハ時價五圓グラ井ニナッテ居ルト申スコトデアリマス、ソレ故ニ一石ニ付イテ一圓ノ差額ヲ生ジテ來タ譯デ、斯ノ如ク大豆ノ價格ガ下落イタスト云フコトハ廉イ外國大豆ガ這入ルカラデアアルカ否カト云フコトヲモ御尋イタシテ見タノデアリマス、兎ニ角、直接ノ問デアハ無カッタノデアリマスケレドモ、百万石ノ大豆ガ外國ヨリ來ル爲ニ内地ノ大豆ノ價格ガ下落スルト云フハ事實ダト云フコトデアリマス、然ルニ大豆ナルモノハ東北地方及北海道ニ最モ多ク產出イタスモノデアアル、就中、北海道ニ於テハ作付段別五万八千町歩ト云フコトデアリマス、之ヲ考ヘテ見マスルニ殆ド既ニ開拓シテアル所ノ土地、八十萬町ノ幾部分ニナルカト算ラ致シテ見マスルト、彼是レ十五分ノ一ノ面積ヲ占メル、將來ニ於キマシテ北海道ノ未開地ヲ開拓スルニ付イテハドノ位アルモノカト云フト、凡ソ九十萬町ト承ル、ソレハ少シノ違ヒハアルカ知レマセヌガ、サウナッタトキニ矢張り此大豆作ナルモノハ拓殖上必要ナモノデアナイカト云フ感ヲ有ッテ居リマス、ソレデ今日ノ如ク大豆ガ下落ヲ致シテモ、内地人民ハ益アッテ之ヲ作スルニ堪フルモノカト云フコトハ一ノ問題ニナル、ソコデ北海道ニ於キマシテハ殊サラ此大豆作ト云フモノハ穀類中ノ最モ重モナルモノデアナイガ、若シモ北海道ニ於テ之ヲ作スルコトガ出來ヌ、即チ五圓ノ價ト云フモノガ價格デアレバ、拓殖上直接影響ヲ被ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ故ニ其邊ニ付イテ道廳長官ノ御意見ハ如何デアリマセウカ、承リタイ

○政府委員(河島醇君) 私ハ今、高木男爵ノ御質問ニ對シテ御答ヲスル前ニ於テ、チヨット御斷リヲシテ置キマス、北海道廳長官トシテ此委員會ニ直接出席スルノハ少シク權限上ノ疑問ガアル、曾テ私ハ衆議院議員タリシトキ、局外者ヲ委員會ニ引出スコトハ相成ラヌト云フコトガアッタト考ヘマス、併ナガラ幸ヒ一方ニ於テハ政府委員、一方ニ於テハ此貴族院議員ノ資格ガゴザイマス故ニ、喜ンデ今ノ御問ニ御答イタサウト思ヒマス、抑、北海道ノ拓殖ニ付イテハ最モ樞要ナル問題デアリマシテ、當局者ニ於キマシテハ此點ニ於テ一層苦心イタシテ居リマス、少シク御質問ニ對シテ問題外ニ互ルカ知レマセヌケレドモ、此度關稅法ノ改正ト云フモノハ申スマデモナク其性質上原則認ムベキモノハ三ツアルダラウト考ヘテ居リマス、第一、自國ノ商工業ヲ保護シテ謂ハユル生産力ノ

發達ヲ圖ルト云フコトガ第一、ソレカラ彼我相互ノ利益ノ爲ニ貿易ノ進捗ヲ圖ルト云フコトガ第二、ソレカラ財政上成ルベク多額ノ關稅ヲ徵收スルト云フコトガ第三、其前後ハ一、二、三ノ前後ハアリマスルケレドモ、凡ソ大要此三原則デアラウト考ヘマス、然ルニ稅ヲ徵收スルト云フ上カラ言フテ見マスレバ、此北海道ノ如キハ少シク議論トシテ薄弱カモ知レナイ、併ナガラ自國ノ生産力ノ發達ヲ圖ルト云フ上カラ言フテ見マスレバ、豈啻大豆ノミナラズ、此他ニ二種北海道廳長官トシテ當局ニ意見ヲ述ベテ居ルコトガアル、ソレハ何デアアルカト云フト「バター」ト「チーズ」デアリマス、「バター」ト「チーズ」ハ漸ク輸入ハ二十萬圓ホドデアアル些細ナモノデアアル、徵稅ノ目的カラ言ヘバ些細ナモノデアリマス、併シ殖産興業ノ發達、生産力ノ發達ヲ圖ル上カラ言ヘバ、其三十萬圓ト云フモノハ隨分多額ナモノデアアル、是デ幾千ノ人ガ生活スルカ、又之ガ爲ニ幾何ノ生産力ヲ將來發達セシムルト云フコトノ點ニ於テハ、餘ホド樞要ナル問題デアリマス、唯財政上ノ點カラ言ヘバ即チ些カナモノデアアル、漸ク二十萬ツコト云フヤウナモノデア關稅ヲ徵收スルニシテモ、極ク少額ナモノデアアルガ、併シソコガ北海道ニ付イテハ多少樞要ナルモノト考ヘルノデアアル、此大豆ノ如キハ御述ベニナッタ如ク五萬町歩ノ作付デアッテ、北海道ハ内地ト違ッテ多クハ農牧デアアル、即チ農牧ノ中デモ、畑作、其畑作ノ中、主要ナルモノハ何デアアルカト云フト、大豆デアリヌ從ッテ小豆、麥、燕麥、若クハ菜種ト云フヤウナモノガ其中ノ最モ主要ナルモノデ、且ツ最モ今後有望ナルモノハ大豆デアリマス、然ルニ此大豆ヲ保護シテ特ニ北海道ノ爲ニ保護稅ヲ課スルト云フコトハ、或ハ政府トシテハ爲シ得ラレヌ點デアアルカ知レマセヌケレドモ、北海道ノ現状、アノ土地ノ情況カラ申シテモ、今後發達ヲ圖ラウトスルニハ内地ト違ヒマスカラ、ドウシテモ畑作ノ獎勵ヲシナケレバナラヌ、而シテアノ土地ハ一毛作デアアル、ソレラノ關係カラシテ北海道ノ將來ノ大ニ發達ヲ圖ラウトスレバ、即チ滿洲其他輸入ノ大豆ト云フモノニ對シテハ、幾分保護的ノ意味ヲ以テ自國ノ生産力ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、豈啻北海道ノ爲ニナラズ、是ハ國家ノ上カラモ樞要ナルコトト思フノデアリマス、併ナガラ衆議院ノ修正、如ク、如何ニ稅率ハ嵩ムトモ、滿洲若クハ朝鮮等ヨリ輸入スルモノハ無稅ト云フ取除法ガ有ッタラ其課稅ハ何ニモナラヌ、同ジク滿洲ヲ經テ來ヤウガ、朝鮮ヲ經テ來ヤウガ、内地ノ生産ヲ保護スル物質ニ付イテハ、齊シク稅課スルト云フコトニナラナケレバ、一ノ效力モナイ譯デアリマス、若シ衆議院ノ修正ノ如ク、是ガ通過イタシマスレバ、北海道ノ大豆ト云フモノハ、將來發達上大ニ利益ヲ得ルコトハ無論ノコトデアリマス、北海道ニ於テハ寧ロ之ヲ希望スルノデアリマス、斯ク御答ヲスルノハ、政府委員トシテ若クハ長官トシテハ、甚ダ權限外ニ涉ルヤウデアリマスガ、ドウツ御諒承アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 尙ホ伺ヒマスガ、私ノ初メ御問ヒ申シタノハ、今日大豆ノ價格ガ一石五圓バカリト云フコトデアリマス、其位ナ價格デモ農民ハ之ヲ作スルコトガ出來得ルヤ否ヤト云フコトガ一ツノ問デアアル、之ニ付イテノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(河島醇君) 今日、農業上ノコトニ付イテハ、内地ノ米作ガ豐作デアッタ

爲ニ農民ノ苦シミヲ増スニ至ラズノハ、其格價ガ下落シタコトデアリマス、今日ノ現收ノ儘ノ經過ヲ以テ持續スレバ、到底農民ハ堪ヘラレヌコトニナル、ソレナラ何ニ移ルカト云ヘバ、前申上ゲマシタヤウニ彼ノ土地ハ内地ト大ニ地勢其他ヲ異ニシテ居リマス故ニ、外ノ作物ニ移ルコトハ出來マセヌ、矢張り其他ノ豆類、麥類ニ移ラナケレバナラヌ、サウシテ見マスルト、其爲ニ北海道ノ拓殖上ニ非常ナル損害ヲ被ルコトハ是レハ明カナコトト考ヘマス

○男爵高木兼寛君 尙ホ他ノ政府委員ニ御尋イタシマス、能ク考ヘマスルニ三百五十万石ノ内地産ニ對シテ一石二圓ノ減額ハ、七百万圓ト云フコトニナルデアリマス、トコロ此產出者ガ其作ヲスルト云フコトデアレバ、是モ全然ト云フコトデアリマス、ガ、既ニ其額ヲ大ニ減少シテ、漸ク味噌醬油ノ原料ニ供スル位ナモノヲ作ルニ過ギヌト云フコトニ終リハセヌカト云フ點ニアルデアリマス、一方ハ僅カ百万石ノモノガ來タ爲ニ、三百五十万石ガソレダケノ損害ヲ被ルコトニナツテ參ルデアリマス、ソコデアラハ無イヤウニ思ヒマス、四千五百万ナリ五千万ノ人が擔フ所ハ此物ガ七圓ノ價額デアツタト云フ所ガ、格別困難ヲスルヤウナコトハ來ラヌヲ思ヒマス、ドウシテモ二千餘万石ノ產出ガ出來難クナルト云フ側ノ損失ハ非常ナルト思ヒマス、

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 大豆、小麥、大麥等ニ於キマシテハ昨日申上ゲテ置キマシタ通り、是等ノ稅ハズツト以前ニ於キマシテ即チ舊條約時代ニ於キマシテハ米ハシメ大麥、小麥、大豆、小豆、何レモ無稅デアツタノデス、ソレガ三十二年ノ關稅ノ改正ノトキニ米ヲ除キマシテ……三十二年ノ改正ノトキニハ米ハ無稅デアリマシタガ、米ヲ除イテ外、大麥、小麥、大豆、小豆何レモ五分課稅シテ居ッタデアリマス、ソレカラズツト續イテ參リマシテ三十八年四月一日即チ戰時ノトキニ於キマシテ米ヲ始メ大麥、小麥、大豆、其他何レモ一割五分ノ課稅ニナツテ今日マテ續イテ居ル、此一割五分ト云フ課稅ハ即チ戰時ニ於テ一割増シテ……從前ノ五分ニ増シテ一割五分トナツテ居ル、ソレカラ戰時以後今日マテ續イテ來テ居ルデアリマス、是等ノ品物ノ課稅ハ、一割五分ノ課稅ハ、現行ノ關稅率ノ上カラ見マスト云フト高イ所ノ稅率デハナイデゴザイマス、無稅、一割ソレカラ一割五分ト云フトニナツテ居リマシテ、餘リ高イ所ノ課稅デハナイ、他ノ品物ニ權衡ヲ取テ兎ニ角、無稅トスル理由ノアルモノハ是ハ特別デアリマスケレドモ、無稅トスル特別ノ理由ノ無イ品物ハ相當ニ他ノ品物ト鈞合ヲ取テ課稅スルノガ適當デアラウト、斯ウニ云フト權衡ヲ維持シタ次第デアリマス、大豆ノ輸入ノ情況ヲ見マスト云フト是ハ年ニ依ツテサウ大ナル變動ガ無イト申シテモ宜シイ、三十二年カラ十年間ノ情況ヲ一覽ヲシテ居ルノニ、大抵毎年ノ輸入額ハ一定シテ居ルト云ツテモ宜シイ、又内

地ノ作柄ヲ申シマシテモ、是モ稍々非常ナ増減ハ無イ、三十一年ニ三百萬石ノ收穫ガアツテ、四十年ニハ三百五十萬石ノ收穫ガアリマス、其間ノ昇降シテ居ルヤウナ情況デアリマス、輸入モ内地ノ生産モサウドウチラモ變動ガ無イヤウデアリマス、斯ウ云フ實況デアリマスレバ一割五分ノ課稅デハ著シク外國ノ輸入ノ大豆ニ侵サレルト云フヤウナ實況ハ先ヅ統計ノ上ニハ今日ノ所デア見エテ居ラヌヤウニ私ドモ考ヘテ居ル、大體一割五分ノ課稅ヲ致シマシタノハ他ノ穀類ナリ穀類以外ノ他ノ輸入品ニ權衡ヲ取リマシテ、且ツ是ハ御説ノ通り味噌、醬油、其外日用ノ食用品ニ製セラレルモノデアリマスカラ、適當ノ稅率ニ止メルノガ相當デアラウト斯ウ考ヘテ居リマス

○政府委員(河島醇君) 先刻、高木男爵ノ御答ニ適ハナイ所ガアリマスカラ申上ゲマス、北海道ノ大豆ノ作ハ内地ノ大豆ノ作ト大ニ趣ヲ異ニ致シマシテ、即チ内地ニ於キマシテハ本作ト間作トノ區別ガアル、北海道ノ大豆ハ即チ北海道ハ本作デアツテ間作ガ無イ、内地ノ大豆ト云フモノハ大抵、間作デアアル、是ガ大變違ヒマス、此邊ハドウゾ能ク御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵高木兼寛君 唯今承ツタ御説明デハ十分ニ要領ヲ得ナイト思ヒマス、私ノ知ラムト欲スル所ハ即チ年ニ百萬石ノ廉イモノガ輸入ヲサルニ依ツテ三百五十萬石ニ影響スルト云フ問題デアアル、ソコデア百萬石ノ爲ニ三百五十萬石ガ前キニ申シタ通りノ損失ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナル、ソコデア三百五十萬石ノ產出高ハ漸次減少セザルヲ得ヌト云フ結果ヲ見ルノデアリマス、是ハ減少シテモ一方ニ於ケル所ノ外國ヨリ來ル所ノ大豆ハ幾ラデモ其額ヲ増スコトガ出來ル、内地ノモノハ消滅シテモ之ヲ輸入シテ使用シナケレバナラヌト云フ事情ガ一方ニアルノデアリマス、ソレユエ茲ガ要點デアアルデアリマス、産業ヲ保護スルヲ以テ矢張り關稅率ノ目的ノ内ニ込メテアル、外務大臣モ御話デアツタガ内部ノモノヲ潰シテマデモ一方ガ來ルノハ構ハヌカト云フコトハ目的中ニハ無イ、然ルニ今御説明ノ通りデアツテ年々左ホド輸入輸出ノ差ハ無イ、又產出ノ差モ格別ナイ、同ジヤウデアアルカラ格別心配ハ無カラウト云フヤウナ意味合ノ御説明ノヤウニ承知イタスノデスガ、果シテサウ云フトガ續キ得ルモノカ、決シテ續クマイト思フ、廉イ方ハ幾ラデモアル、今百萬石内地作レバ二百萬石三百萬石、四百萬石デモ増スコトハ容易デアラウト思フ、サウナレバ内地ニ產出スル所ノ土地ガ、北海道ノ如ク是ガ出來ナケレバ未開地ヲ其儘ニ置カケレバナラヌヤウナコトガ來ラヌカト私ドモ考ヘテ居ル、ソコデア如何ニモ其憂ハ決シテ無イト云フトデアゴザイマスカ、當局者ニ最後ニ極ク簡單デア宜シウゴザイマスガ同ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 私ハ其點ヲ御答ヘ申シタデアリマス、即チ過去十數年間ノ情況ヲ見マシテ、即チ三十二年頃ノ大豆ノ輸入稅ハ僅ニ五分ノ時代デアリマス、ソレガ三十八年ニナツテ一割五分トナツタデアリマス、此際ノ情況ヲ考ヘテ見マシテモ、大豆ノ輸入ノ情況ガサウ大ナル影響ヲシテ居ラナイ、又内地ノ作ノ情況ヲ見マシテモ稅ガ五分デアリ一割五分デアツタ其時ノ情況ガサウ大ナル變動ヲ告ゲテ居ラヌト云フトヲ以テ考ヘテ見マシテ大體推察サレレデアラウト斯ウ云フ考デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 昨日質問イタシタイト存シマシタガ農商務大臣ガ御出席デアリマセヌ、今日ハ御出席デアリマスカラ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 此度ノ關稅定率法中、穀物ニ關スル稅目ノ上カラ大體同ヒ置キタイノテゴザイマスガ、固ヨリ穀物ハ國民ノ食料タルベキモノデ、國民ノ食料ヲ低廉ニスルト云フコトハ國民生活上ヨリモ 勿論望マルベキコトデアアル、然ルトコロ我國ノ國土ノ形狀自ラ定マル所モゴザイマスルシ、又一方ニハ國土ノ廣サニ於テ限リガゴザイマスルガ故ニ、將來人口ノ増加ニ伴ウテ之ニ必要ナル穀物ノ供給ヲ此限リアル國土ノ中ニ得ルト云フコトハ困難ニ存シマス、殆ド能ハザルコトデアリマスガ、付イテハ將來國民ノ食料ヲ低廉ニスルト云フ方針ニ付キマシテ、ドウ云フ風ナコトニナリ居リマスカ、現ニ唯今見マス所ニ依リテモ、隨分國民食料ノ低廉ナラズシテ益、高キニ赴クト云フコトハ明カナヤウニ存シマス、其邊ニ付イテ大體ノ御方針ヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ右ノコトト同時ニ農家ヲ保護シテ參ルニハ單ニ米價ノ昂騰ヲ圖ルト云フ一點ノミデモナイヤウデゴザイマスガ、他ニ農家ノ保護ニ於テ施サルベキコトハ數多アルヤウニ考ヘラレマス、是等ニ付イテハ段々御施設ニナル御方針デアリマセウカ、其邊モ併セテ承リ置キマシタナラハ此稅目ヲ審議スルニ付イテ大ニ便益ヲ得ルダラウト思ヒマシテ之ヲ伺ヒタイデアリマス

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今御尋ニ付キマシテ四五箇條ヲ以テ大體ノコトヲ申上ゲマス、ソレガ御參考ニナレバ 誠ニ幸デゴザイマス、先ツ第一ニ此既往及現在ノ情況ヲ一ト通り申上ゲタイト存シマス、今我國ニ於ケル所ノ農產物中ノ主要ノ作物ト云フモノハ勿論、米デアルト云フコトハ申ゲルマデモゴザイマセウ、既往二十箇年ノ間ニ於テ作付段別ハ約三十万町歩増加イタシテ居リマス、而シテ其收穫高ハ明治二十年頃ヨリノ 平年作ハ二千五百万石ニ上ボラナカッタノテゴザイマス、然ルトコロ二十年頃ニハ三千八百万石トナリマシテ、現今ニ於キマシテハ四千六百五十万石トナリ居ルヤウデアリマス、ソコデ既往ノ二十箇年ニ於テ一千万石以上ノ增收ヲ見ルニ至ッタノテゴザイマシテ、四十一年、四十二年ト云フモノハ古今未曾有ノ増額ト言ヒテモ宜イ位ノ高デアツテ、五千一二百万石ノ多額ニ上ボッタデアリマス、全ク是ハ幸ニ天候ノ爲ニ斯ノ如キ增收ガ多カッタモノト考ヘマス、ソレダケデモナイ、原因ハ多クアラウト考ヘテ居リマス、ソコデ增收ノ原因ニ付キマシテハ作付段別ノ増加ニ依リモノモ少カラヌト考ヘマス、ケレドモ一般人智ノ進歩ト保護獎勵ノ結果トニ依リマシテ、農事ノ改良事業ガ段々其效ヲ奏シタノモ其原因ノ一ツデアツテ、一反當リノ收穫量ヲ増加シタルニ依リモノモ亦少カラヌデアツテ、其改良事業ナルモノハドウ云フモノデアアルカト云フト、第一ニ耕地整理、其他耕地ノ改良、ソレカラ肥料ノ進歩シタルコトハ近年餘ホド著シイコトデアリマス、ソレカラ種子ノ改良、栽培上ノ技術ノ進歩モ幾分ノ效ヲ奏シタモノト考ヘマス、ソレカラ害蟲驅除ノ豫防方法ノコト、是等モ近年ニ至ツテ大分普及シテ參リマシテ 大概撲滅スル所モ多ウゴザイマス、ソコデ將來ノ豫想トシテ今既往ノ方針ヲ續行イタシマシテ 一層農事上ノ施設ニ注意ヲ致シマシタナラバ、畜ニ耕作段別ノ増加シ得ルノミナラズ、灌溉、排水、其便ニ依リテ土地ノ改良ヲ行フコトハ勿論デアリマス、且ツ百般ノ改良事業ニ依リマシテ 既設耕地ノ一段アタリノ收穫量ヲ増加シ得ベキ所ハ頗ル多大ナモノデアラウト考ヘマス、即チ今後年々五十五六万、六十万以内ノ人口ガ御承知ノ通りニ殖エテ參リマス、ソコデソレニ拘ラス將來二三十年間ニ於キマシテ大體ニ於テ本邦人ノ需要ノ

米ハ此出來ル產米ノ供給ニ依リマシテ先ツ大ナル不足ヲ見ルコトハ無カラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ麥、大豆等ノコトニ付キマシテハ申スマデモナイ國民ノ糧食問題ヲ講究スルニ當リマシテハ、米ノ代用ノ食物タル麥ハ農產上最モ重要ノ關係ヲ有シマスノデ、即チ明治二十年頃ヨリ我國ノ麥作ト云フモノハ約千五百万石トナリ居リマスガ、現時ニ於テハ二千五百石トナリ居リマス、既往二十箇年ニ於キマシテ約五百萬石ヲ増加シテ居リマス、而シテ此將來ニ毛作地ノ擴張其他土地ノ開墾ニ依リマシテ麥作ノ地ヲ増加シ得ル望ハ餘ホド有ラウト考ヘマス、デ既ニ出來タル所ノ耕地ノ栽培、技術ノ進歩、之ニ伴ヒマシテ其收穫ヲ増加シ得ルト云フコトハ、其餘地ト云フモノハ米作ヨリモ比較的ニ大キナモノニナリハスマイカト考ヘマス、大豆其他ノ雜穀類ハ北海道東北地方ハ勿論其他ノ地方ニ於キマシテモ相當ニ增收ヲ圖ル所ノ望ガゴザイマシテ、何レモ既往ノ方針ヲ續行イタシマシテ成ルベク内地ノ產物ヲ以テ内地ノ需要ニ充テタイト考ヘテ居リマス、ソコデ此現行ノ關稅率ニ於テ申上ゲレバ、輸入ノ穀物ニ對シテ現行ノ關稅率ヲ据置クト云フコトヲ可ト致シマシタ理田ハ、關稅率ノ増徴ニ依リマシテ穀物ノ價ノ即チ穀價ノ騰貴ヲ招クト云フトキニハ將來大發展ヲ遂ゲルニ必要アル所ノ商工業ニ影響スル所ノモノハ少ナカラヌコトト考ヘマシタ、下層勞働者ニ苦痛ヲ與フルト云フモノニナリマスレバ、政府ハ一方ニ於テハ適度ノ關稅ニ依リマシテ内地ノ農業ヲ鼓舞スルト同時ニ、一方ニ於テハ一般經濟ノ發達ヲ阻礙セヌヤウニ期シナケレバナラヌト考ヘマシテ、サウシテ現行ノ稅率ニ於テ最モ現狀ヲ維持スル方ガ宜カラウト云フ考デ此案ハ出來タ譯デアリマス、ソコデ將來如何ナル方法ニ依リテ我國ノ農業ノ發展ヲ圖リ農業上ノ保護獎勵ヲスルカト云フコトハ、固ヨリ大キナ關係デアリマシテ、色々ソレニハ名案モゴザイマセウガ、先ツ私ノ感シテ居リマス所ハ昨年モ大概全國ノ半面以上ヲ巡回イタシマシテ感スル所マツタ中ニ、第一ニ感シタルノハ農家ノ金融ノ不十分ナル、或ハ東北北海道邊ニナリマシテハ二割五分、二割、甚キハ三割ト云フ金ヲ借りテ、サウシテ農業ノ事ヲヤツテ居ルヤウナ有様デアリマスカラ、到底是デハ農業ノ發展ヲ圖ルト云フコトハ出來ナイト感シテ歸ッタデアリマス、ソコデ第一ニ其事ニ注意ヲ致シマシテ、色々政府デモ評議イタシタノデ、且ツ此郵便貯金ヲ成ルベク餘計ニ地方ニ散在スルヤウナ方針ヲ採リタイト云フコト、本年ヨリハ一千万圓以上ノ地方ニツレテ散布スルヤウナ方法ヲ立テタト同時ニ、勸業銀行、農工銀行ノ改正案ヲ出シテ、其方デ以テ農業或ハ水産等ニ金融ヲ當テ、サウシテ將來ノ農家ノ融通ヲ付ケテ農業發展ヲ圖ルト云フ考デアリマス、サウシテ一方ニハ馬、牛ト云フヤウナモノヲ獎勵シテヤラナケレバ、各地農工……耕地整理……今ノ所デハ二百九十万町歩クラ井ノ田地ノ所ニ耕地整理ヲヤレルト云フ所ガ百六十万町歩クラ井ト覺エテ居リマス、ソコデ今耕地整理ヲ現ニヤツタ所ガ九十七万町歩クラ井ニナツテ居リマス、ソコデ其耕地整理ヲヤツタアトハ、ドウシテ居ルカト見テ居リマスレバ、矢張り牛馬耕ニ依ラスニ人間ガ鐵ヲ以テ耕ヤシテ居ルト云フヤウナ有様デアリマスカラ、到底コレハ耕地整理ヲ致シタ所ガ、仕樣ガナイカラ兎ニ角、牛馬耕ヲ獎勵シナクテハナラナイ、ソコデ其第一ニ牛ヲ澤山飼フヤウニ獎勵シテ、サウシテ牛耕ヲ以テヤル方ガ宜カラウト云フ感覺ヲ有チマシタカラ、其方ヲ類ニ獎勵中デアリマスガ、ナカク牛馬ノ數ハ今、牛ガ全國ト約百三十万、ソレカラ馬ガ百五十万ト云フ位ノ數、各國ノ例ニ依ルト實ニ話ニナラナイ

位ノ少數アリマス、ソレテ何トカシテ牛馬ヲモウ少シ獎勵シテ殖ヤサナケレバ自然、耕地整理ヲシテ所ノアトハ矢張り人間ガ耕ヤシテ居ルト云フコトハ到底仕方ガアルマイト考ヘテ居リマス、ソレ等ニ付イテハ自然ニ牛馬ノ獎勵ニ付イテモ固ヨリ金ノ掛カルコトデゴザイマスカラ、ナカノ思フ通りニハ行キマセウガ、考ハサウ云フ考デゴザイマス、先ア大體ヲ申上テ御參考ニ供シタイト考ヘマス

○男爵田健治郎君 北海道廳長官ガ御イテデゴザイマスカラ、チヨット高木男爵ガ先刻、大豆ニ付イテ御尋ガアリマシタ其御尋ニ續イテ御尋シタウゴザイマス、此大豆ノ……滿洲大豆ガ輸入スルニ付イテ北海道大豆ガ大ニ打撃ヲ受ケルコトイガ有ルヤウデアリマスガ、私ガ豫ネテ承ル所ニ依ルト、寧ろ北海道ノ耕作ソレ自身ガドウモ面白クナイノヲ獲達シナイト云フコトヲ承ル所ニ依ルト、北海道ノ大豆ハ年々歳々同所ニ同物ヲ作ル、絶エテ輪作ヲシナイ、ソレガ故ニ品質ガ段々悪ルクナツテ昨年ノ如キハ既ニ場所ニ依ツテハ殆ド皆無ノ所ガアルト云フコトヲ承ル所ニ依ルト、滿洲ノ方ヲ見ルト云フト、滿洲ハ凡ソ三年クラ井ニ輪作ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、サウスルト云フト滿洲ノ大豆ノ競争ガ無クテモ北海道大豆ハ到底十分ニ成立ツコトハ出來ナイト云フ說ヲ承ル所ニ依ルト、ゴザイマスガ、果シテサウ云フコトガアリマセウカ、又サウ云フコトガアルナラバ何カ之ニ改良ノ方法ヲシテ相當ノ輪作法デモ設ケテ、サウシテ立派ニ成立ツト云フヤウニスルト云フ方法ガ無イノデアリマセウカ、ドウモ毎年歲々米ナンドハサウ云フ工合モアリマスケレドモ、同所ニ同物ヲ作ツテハ出來様ハ無イト云フコトハ明カナコトデアラウト思ヒマス、其邊ニ付イテ御意見ヲ承リタ

○政府委員(河島醇君) 北海道ノ農業一般ニ付イテハ、之ヲ内地若クハ滿洲地方ニ比シマシタナラバ大ニ優劣ガアラウト考ヘマス、殊ニ北海道ハ漸ク開墾シテヨリ數年若クハ一兩年ヲ經タ位ノ所モゴザイマシテ、農業上ニ於テ内地ノ如ク十分ナル集約的ニ是ガ成立テ居ラヌノミナラズ凡ソ大豆ナドヲ作ル所ハ無肥料デアル、ソレ故ニ自然、年ヲ經テ收穫モ減ルト云フコトモ或ハアルカモ知レナイ、併シ今日ノ有様ハ一昨年以來、一ノ打撃ヲ受ケタト云フモノハ何デアアルカト云フト、滿洲大豆ノ多額ノ輸入ト、一方ニ蟲害ガアリ、殊ニ大豆ニ向ツテ蟲害ガアツタ、是等ハ果シテ輪作ヲシテ結果デアラウト云フコトデ、大ニ注意ヲ致シテ今日ハ成ルベク輪作ヲスルヤウニスルガ宜カラウト云フコトニナツテ居リマス、且又北海道ハ内地ト違ヒマシテ、將來、田作ヲ爲スベキ所ハ先ツ總面積ノ十ノ二クラ井ノモノデアラウト思フ、ソレ以下クラ井ノモノデ、八分通りハ畑作デアル、其畑作ハ即チ一方ニ於テハ牧畜ヲ加味シナケレバナラヌ、之ヲ以テ大ニ肥料ヲ助ケルト云フコトニシナケレバナラヌ、前ニ申シマシタ如ク北海道ニハ本作、間作ト云フコトハ別ニ無クシテ、大豆ノ如キハ、コレガ一種ノ本作デアル、コレガ一種ノ主産物デアル、大豆ハ内地デハ副産物デアルガ、北海道デハ一ノ主産物デアル、今後北海道ニ於テ將來何ヲ主産物トスルカ、何ヲ副産物トスルカト云フコトハ、未來ノ問題デアリマス、其邊ハ農事施政上ニ於テ精密ナル調査ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○男爵田健治郎君 チヨット、モウ少シ確メテ置キタイノデアリマスガ、輪作ニ將來ハスル積リデアルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ極メテ結構ナコトト思ヒマスガ、滿洲アタリデアラウト云フコトヲ居ル所ニ、大豆ヲ作ルニハ三年クラ井ノ輪作ニシテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リ

マス、高粱若クハ麥、大豆其他ノ物モアルサウデアリマスガ、此滿洲アタリハ、日本カラ見レバ極メテ農事ガ幼稚デアラウト思フコトハ所ガ、豈圖ランヤ日本ヨリモ餘ホド進ンダ、即チ輪作法ト云フモノガ一般ニ行ハレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレデアリマスガ故ニ格別、肥料ヲ施サズシテ相當ノ物ガ出來ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、然ルニ此小農ヲ以テ誇リトシテ居ル日本ガ、北海道ニ於テハ唯天然ノ肥料ヲ頼ミニシテ一向肥料ヲ施サヌ、其上ニ以テ行ツテ同所ニ同物ヲ年々歳々作ル、其結果トシテ害蟲ガ當然起ル、而シテ萎靡シテ出來ナイ、段々ソレガ爲ニ品質ガ悪ルクナツテ、且ツ出來ナクナツテ仕舞ツタト云フ御話デアル、ソレデ輪作ヲスルト云フ御氣ガ付イタノハ極メテ結構デアリマスガ、其輪作ヲスルト云フコトハ一般ニ何カ道廳アタリデハ相當ノ獎勵ノ御手段ヲ以テ何年目ニ作ルトカ、ドウスルト云フ一般ニ行ハル、ヤウナ仕組ガ御立ニナツテ居ルノデアリマセウカ、若クハサウ云フモノヲ持ヘル御積リデアリマセウカ、モウ少シ委シク承リタウゴザイマス

○政府委員(河島醇君) 北海道ニ於キマシテハ今質問者ノ御述ベニナツタ如ク皆小農主義デアアル所ニテ、然ルニ小農ハ資本モ薄弱デアリマスガ故ニ、永遠ノ利益ヲ期スルト云フコトハ無イ、ソレ故ニ今後ハ輪作……大農ニスルトコトニシテ十町以内トシテ面積ヲ廣クイタシタ、是ハ彼ノ土地ハドウシテモ中農若クハ大農、漸次之ヲ大キクシナイ以上ハ到底十分ニ農業ノ發達ヲ期スルコトハ出來ナイ、内地ノ集約的ノ土地ノ耕作等ニ據ルコトハ出來ナイ、ソレガ爲ニ十町歩農耕地トシテ、幾部分ヲ牧畜地トシテサウシテ牝馬若クハ牝牛ヲ飼育シテ行ツテ、サウシテ一方ニ於テ之ヲ農事上ニ利用シ、一方ハ其肥料ヲ取ルト云フ風ニシ、又ソレガ獎勵ノ法ニ於キマシテハ試驗場ガ五箇所アル、其試驗場ニ於テハ唯内地ノ試驗トハ違ツテ、其土地土地ノ氣候風土ニ依ツテ適切ナル試驗ヲスルト云フコトニナツテ居ル、其試驗ノモノハ唯ノ試驗ニ止マラズシテ、其所ノ試驗ハ其土地ニ分配スルト云フコトニナツテ居リマス、一方ニハソレ等ノ機關カラシテ疑問ノアル所ヲ質シ、一方ニ農事獎勵ノ人員ヲ派遣シ、ソレハ技師若クハ技手ヲ派遣シテ、蟲害地ニ向ツテ懇々説諭シテ成ルベク輪作ニシテ蟲害其他ノ損害ヲ受ケナイヤウニ注意ヲ致シテ居ル、併ナガラ前ニ申シマシタ如ク、北海道ハ未ダ之ヲ本作トシテ之ヲ主産物ニスルト云フマデニハ達セヌノデアリマス、併ナガラ大豆ハ其最モ大キナモノデアルト云フコトハ爭フベカラザルコトデアツテ、今後ニ於テハ十勝、北見ノ大部分ノ面積ガ廣ガルニ從ツテ、其土地ニハ何ガ適スルカト云ヘバ、大豆ガ適スルト云フコトヲ認メテ居ル、當局者ニ於テハ右等ノ方法ニ依ツテ獎勵シテ居ルノデアリマス

○鎌田榮吉君 私ハ昨日ハ缺席シマシタカラ或ハ重複イタスカモ存ジマセウガ、米及初ノ輸入税ノコトニ付イテ一應伺ツテ置キタイ、全體此稅ハ收入ガ目的デアルカ、或ハ保護目的デアルカ、最初之ヲ設ケラレタ趣意ハ保護ガ目的デアッタヤウニ思ハレル、自ラ保護ニ伴ツテ收入モアル譯デアルトシタ所デ、此稅ヲ設置シテ後ノ各年ノ影響ト云フモノハ如何ナル風ニナツテ居ルカ、或ハ平作ノトキニハ此稅ハ如何ニ働ク、凶作ノトキニハ如何ニ働ク、又豐作ノトキニハドウ、ト云フコトガ各年ニ於テ稅ガ如何ニ米價ノ上ニ働キ、其他ドウ云フ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フコトヲ當局ニ於テハ必ズ御調査ガアツタラウト考ヘ、又之ヲ保護ノ爲デアルトシタナラバ、本年ノ如キ米ノ增收ノトキニ農民ガ大ニ米價

下落ノ爲ニ困難ヲスルト云フ此時ニハ、此稅ト云フモノガ何カ役ニ立ッテ行クカ、或ハ又米ガ十六圓モスルト云フトキニ、コレガドウ云フ働キヲ爲スカ、益、コレガアル爲ニ貧民ノ食物ヲ高クスル、高キガ上ニ高クスルト云フヤウニナッテ居ルモノデアアルカラ又今年ノ如キ豐作ノ爲ニ困難スルト云フトキニハ全ク是ハ役ニ立タナイノ少シモ此米價ノ昂低ト云フモノ巧ク利シテ行ク、ソレヲ緩和シテ行クト云フヤウナコトニ何カ是ガ效ヲナシテ居マセウカ、其邊ノ所ヲ一應伺ッテ置キタイト考ヘル

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ御尋ハ昨日私ノ申述ベマシタ内ニ大體申上テテアタト存シマスケレドモ、尙ホ御尋デアリマスカラ簡單ニ申上ゲマシ、米ノ輸入稅ハ御承知ノ通り三十七八年ノ戰時ニ設ケラレタモノデアリマシ、三十八年ノ七月一日ヨリ一割五分ヲ課スルト云フトコトニナッテ居ル、當時、米ノ輸入稅ヲ課スル趣意ハ唯今御問ノ通り無論ニ依ッテ戰時必要ナル財源ヲ得ルト云フトコトハ申スマモナイノデアリマシ、ソレト同時ニ當時ノ記録ヲ見マシタルト云フト、外國ノ輸入米ニ若干ノ稅ヲ課ケレバ之ニ依ッテ幾分内地ノ米ノ價格モ相當ニ維持スルコトガ出來ルデアラウト云フ考ヲ以テ當時制定サレタモノ、ヤウニ考ヘマシ、三十八年ニ制定サレマシテ以來、今日マテノ情況ヲ見マシタルト云フト、三十八年カラ今年マデハ幸ニシテ平年作以上ノ作柄ガ續イテ居ル、殊ニ四十二年ノ如キハ近年ニ無イ所ノ豐作デアッタノデアリマシ、斯様ナ情況デアリマシテ隨ッテ昨今ノ米ノ輸入ノ情況ヲ見マシタルト云フト三十七八年ハ是ハ戰時デアリマシタカラ、ナカノ多額ノ外國米ノ輸入ガアリマシタ、併ナガラ三十九年、四十年、四十一年ノ輸入米ノ情況ヲ見マシタルト云フト、内地ハ平年作以上デアリ又豐作デアルト共ニ、外國米ノ輸入ハ大ニ減少シテ居リマシ、是ハモウ説明ヲ要セズシテ斯様ナ關係ヲ生ズヘキコトハ當然デアラウト思ヒマシ、ソコデ三十八年ニ外國輸入米ニ一割五分ノ課稅ヲ致シマシタ爲ニ内地ノ米ノ相場ガ如何ニ其影響ヲ受ケタカ、又外國輸入米ノ價格ニ如何ナル影響ヲ與ヘタカト云フトハ當時又今日カラモ色々調査ヲシテ見タノデアリマシ、此米ノ價格ハ單純ニ關稅ノ關係ノミヲ以テ見ルベキモノデアリマセ、一般ノ經濟關係カラ米ノ昂低ト云フモノハ起ルコトデアリマシカラ、ナカノ其關係ヲ明瞭ニ説明スルコトガ困難デアリマシ、先ヅ輸入米ノ價格ニ課稅ガ如何ニ影響シタカト云フトモ見タノデアリマシ、單純ニ此年次ノ統計ヲ見マシテハドウモ餘リ一石一圓六十錢ノ稅ヲ課ケタガ爲ニ輸入米ガ十六錢グラ井騰ツタカト云フト、サウ云フ統計ハ現ハレテ居ラヌノデアリマシ、併シ統計表ヲ一覽イタシマシタルト云フト輸入米ノ平均價格ガ三十八年ニハ十圓三十五錢、是ハ無論平均價格デアリマシ、三十五錢ト云フノ現ハシテ居リマシ、二十九九年ニハ十圓七十三錢、四十年ニハ十圓四十二錢、四十一年ニハ十一圓六十九錢、四十二年ノ平均ハ十圓二十五錢、ト茲デ又減ッテ居リマシ、外國米ハ御承知ノ通り内地ノ米ノ需要額ガ假ニ四十五六百万石ト見マシレバ外國米ト云フモノハ年々依ッテ輸入ノ高ニ多少ハアリマシケレドモ、先ヅ非常ニ多クテ年々非常ニ少ナカッタ年ヲ除イテ十箇年クラ井平均シマシタルト云フト輸入米ノ平均ハ二百五十万石ノ間ニアラウト思フ、斯クスレバ二千五六百万石ト云フ數量是ハ内地ノ消費ノ石數四千五六百万石ニ比較イタシマシタルト云フト至ッテ分量ノ少ナイモノデアリマシ、斯ウ云フモノデアリマシカラ米ノ直段ノ變動ト云フトハ、ドウシテモ主タル内地ノ米ノ產額ニ依ッテ重モニ動クモノデアアル、外國米

ノ直段ト云フモノハ詰リイツモ内地ノ米ノ直段ニ連レテ動ク方ノモノデアラウト思ヒマシ、又サウ見ルノガ相當デハナイカト考ヘマシ、故ニ單純ニ輸入米ノ課稅後、一石ノ平均價格ガ騰ツタト云フトコトヲ以テ單ニ是ガ課稅ノ影響デアルト申スノハ餘リ速斷デアリマセウガ、兎ニ角統計ノ上ニ於キマシテハ斯様ナ影響ガ現ハレテ居リマシ、併シ四十二年ノ如キニ至リマシト却ッテ十圓二十五錢ト云フ風ニ下ガッテ居リマシ、是ハ矢張り四十二年ニ於キマシテハ内地ノ米ノ直段ガ下ッテ居リマシカラ、詰リソレニ連レテ行クモノト見ナケレバナラヌト思ヒマシ、單純ナル統計ノ上デハ課稅ガ如何ニ影響シタカト云フトハ正確ニ數字ヲ以テ示スコトガ甚ダ困難デアリマシ、ケレドモ考ヘテ見マシタルノ内地ノ作柄ガ非常ニ宜シクツテ五千万石ヲ取ルト云フトデアレバ、大低外國ノ米ヲ仰ガヌアモ足リル譯デアリマシ、外國ヨリ這入ル米ハズツ減ッテ參リマシ、其ノ關係ヲ以テ考ヘマシタル稅ノ影響ハ大體ドウ云フ風ニ及ブモノデアアルカラト云フト推測シマシ、内地ニ於テ米ノ相當ニ出來マシテ十分ナル時ニ於テハ固ヨリ外國ヨリ澤山入レル要ハ無イノデアリマシカラ、其時ニ於テハ外國米ニ課稅ヲシタト云フテモ、ソレガ爲ニ内地ノ米ノ直段ガ大ニ釣上ガルト云フ影響ハ持ツマイ、又外國米ニ付イテ考ヘマシタルト云フト、是ハ外ノ事ト違ヒマシテ絕對ニ外國米ハ内地ノ米ノ代用ヲスルモノデアリマセウカラ、或ル區域ニ限ラレテ此米ノ需要ニナレルモノデアリマシカラ、ドコマデモ對等ノモノデアナイノデアリマシ、併シ又内地ノ米ガ相當ニ出來タ所ガ、廉イモノヲ用井ナラヌト云フ方面ハアルノデアリマシカラ、豐作ノ時ト雖モ矢張り多少ノ外國米ガ這入ルデアラウト思ヒマシ、サウ云フ時ニナリマシタル、其外國米ニ課稅ヲスレバ先ヅ若干ノ直ガ騰ルト云フトハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマシ、騰ルト見ルコトハ相當デアラウト思ヒマシ、ソレデ大體統計ニ依リマシテ此一割五分ノ米ノ課稅ノ影響ガ、課稅前、課稅後ニ於テ、如何ニ米價ニ影響シタカト云フトハ、米ノ如キハ年柄ニ依ッテ非常ニ豊凶ニ依ッテ收穫ノ多少ノアル品物ニ付イテハ明カニ統計數字ニ依ッテ幾ラ輸入米ノ上ニ直ガ騰ルカ、ドレホド日本米ガ騰ツタカト云フトハ、統計ニ依ッテ十分御説明ヲ致スコトハ困難デアリマシ、大體今申スヤウナ傾ヲ有ツモノデアラウ、斯ウ云フト申上ゲルヨリ外ナイ

○下條正雄君 私ハ農商務大臣ニチヨット御尋ヲ致シテ置キタイ、唯今ノ農商務大臣ノ御話デ誠ニ有益ナル御説ヲ伺ヒマシ、且又常ニ本員ガ考ヘテ居ル所ニ對シテ大ニ満足ヲ致シマシ、付イテハ尙ホ一步踏込ンデ御考ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマシ、一體此第二類ノ穀物ノコトハ固ヨリ其他總テノ品物ニ對シテ、コト云フ點カラ、關稅ノ率ノ或ハ高クナリ、或ハ低クスルト云フトハ固ヨリ必要ナコトト考ヘルノデアリマシ、又各國ノ趨勢モ之ニ傾イテ居ルカノヤウニ承知シテ居リマシガ、サリナカラ開ク所ニ依ルト獨逸ノ如キハ食物ノ保護ノ程度ノ強過ギル爲ニ或ハ満足ノ結果ヲ得ナカッタ、或ハ亞米利加ノ如キハ製鐵ノ如キ其他ノ工作品物ニ對シテハ此保護ノ強カラシムル所ヨリシテ大ニ好結果ヲ得タト云フトモ承知シテ居リマシ、我國ノ今日ノ關稅ノ問題ガ起ッテ今日マテ景況ヲ見マシタル總テ此事物ニ付イテ關稅ヲ高クシテ其輸入品ノ關稅ノ高イノニ偏ニ依賴シテ、サウシテ物品ノ價格ガ騰貴スルト云ウコトヲ專ニシテ居ルヤウニ見エルノデアリマシ、是ハ一方ニ於テハ固ヨリ已ムヲ得ヌコトデアッテ且ツ一理アルコトト思ヒマシ

ケレドモ、サリナガラ此農業即チ米ヲ作ル、麥ヲ作ル、大豆等ノモノニ付イテ其發達ノ工合ガ如何ナルカト申シマスルト、唯今農商務大臣ガ御獎勵ノ御趣意ノ所ヲ伺ヒマスレハ誠ニ御尤モテアル、又頻ニ御注意モアリ、御獎勵モアルコトハ私モ存シテ居リマスルガ、ソレニモ拘ラズ、ドウモ之ニ報ウルケケノ満足ヲ與ヘルケケノ發達ヲ來タシテ居ラヌヤウニ考ヘル、常ニ大豆、或ハ米、其他ノ作り方等ノ實況ニ至ッテモ、誠ニ幼稚アラウト思フ、朝鮮或ハ滿洲ニモ其物ニ依ッテハ及バヌト云フヤウナ有様デナイカト云フヤウニ承知シテ居リマス、關稅ニ依ッテ直段ヲ高クシテ、サウシテ外國品ヲ防ギ、此農作物ハ固ヨリ工業品ニ至ルマデモ之ヲ盛ニスルト云フモノ成ルホド一方ノ手ダテトハ考ヘマスルガ、サリナガラ世界ノ趨勢ガドウシテモ是ハ優勝劣敗ト云フコトニ歸スルト云フノハ、自然ノ理アラウト思フノデ、然ラバ之ニ劣ラヌケケノ勉強モシ、又機械モ備ヘ、或ハ此方法ヲ講ジテ良イ物ヲ澤山作ッテ直段ヲ廉クシテ之ヲ戰フト云フノ思想ガドウモ無カラウヤウニ、アルカモ知レマセヌガ、如何ニモ薄イヤウニ考ヘルノデアリマス、ソコデ當局ニ於テ御獎勵ニナリ、且ツ御注意ニナッテ居ルコトハ、今承ツタ所デ誠ニ御行届キノコトデアリマセウガ、之ヲ受クル方ノ即チ農家或ハ工業家ト云フモノハ改良ニ改良ヲ加ヘテ、サウシテ外國品ニ劣ラヌモノヲ、尙ホ價格ノ上ニ於テモ之ヲ闘ッテ、サウシテ國ノ發達ヲ圖ラナケレバナラヌト云フダケノ覺悟ガ無ケレバ、唯此關稅ノミニ縋ッテ、外國輸入品ノ關稅ヲ高クシテ、此品物ノ價格ヲ騰貴サセルト云フダケヲ專ラニスルト云フ傾キガアツテハ、國ノ發達ヲ阻害スル嫌ガナイカト考ヘルノデアリマスガ、其邊ニ付イテハドウ云フ思召デアルカ、尙モウ一應伺ヒタイト考ヘマス

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今ノ御尋ニナリマシタ點デアリマスガ、一體此關稅ノ定メ方ハ敢テ其輸入稅ヲ高クシテ、サウシテソレヲ以テ金ヲ殖ヤサウト云フ目的ノミデハナイ、又ソレヲ全然一方ニ偏セズシテ、誠ニ其中庸ヲ取ッテサウシテ研究ヲ致シタ問題デアリマス、ナカク之ヲ六百餘種定メルニハ實ハ非常ニ苦心シタコトデアリマス、ソレテ其定メ方ハ我國ノ農商工ノ發達ヲ阻害セヌヤウニシナクテハナラヌト同時ニ、其發達ヲ圖ラナクチャナラヌト云フ、其程度ノ中間ヲ以テ歩カクテハナラヌカラ、ソコデ餘程ムツカシイノデアリマスガ、先ヅ其定メ所ハ今申上ケル通り必ズ農商工百般ノ影響ヲ急激ニ來タサヌヤウニシナクテハナラヌト云フノガ、マア方針デアリマス、ソコデ農事ノコトニ移レバ、今御話ノヤウニ、日本ノ農業ト云フモノハ或ハ滿洲ノ邊ニ及バヌト云フヤウナ御觀察ハ、是ハ我國ノ地形ニ關係有テ居ルコトモ其原因ノ一デアラウト考ヘルノハ、山ノ國デアツテ大キナ平野ト云フモノハ、マア北海道ノ邊ニ最モ大キナモノハゴザイマスガ、農具ノ改良ト云フモノハ餘ホド苦心シテ居リマスガ、ナカク大キナ西洋流ノ農具ヲ持ッテ來テヤルト云フコトハ前キニ申上ケタ通り農家ノ資金ガ不十分デアリマスカラ、ナカク馬ヤ牛ヲ七匹モ八匹モ掛ケテヤルト云フ農具ヲ持ッテ來ルト云フ程度ニ至ラヌカラ、ソコデ假令大キナ平野ガアツテモ、マアソコマデノ程度ニ至ラヌ、ソレデ何カ適當ナ農具ヲ改良シタイト云フコトテ折角ヤッテ居ル所デアリマスガ、今其折角試驗中ノ所モアリマスヤウナ譯デ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル、ソレデ此後ハ一ツ便利ナ物ヲ持ッテ來テ、サウシテ發達ヲ圖ラムト欲スレバ、先ヅ第一ニ馬ト牛ヲ殖ヤサナクテハナラヌ、如何ナル物ガアツテモ人間ノ力デハイクマイカラト云フノデ、斯ウ云フコトニ注意シテ居ルコトモ前キニ申

上ケタ通りデアリマシテ、今後モ矢張り農具ヲ改良シテヤルト云フコトヲ最モ肝要ト考ヘテ居リマス、ソレデ其他ノ農事改良ノ方法、或ハ工業ノ事等ハイロノク考慮ヲシテ居ル所デアリマスガ、其爲ニ工場法案ト云フモノヲ本年衆議院ニ提出イタシマシタ、トコロガ色々議論ガゴザイマシテ、議論ヲシテ見レバ見ルホド是ハムツカシイ、先ヅ以テ本年ハ之ヲ撤回シテ、モウ一遍調査シテ、サウシテ此次期ノ議會ニ出シタイト云フノモ、矢張り其農工ノ計畫中ノ一デアリマス、大體其邊ノ譯デアリマス、御答シテ置キマス、尙ホ不十分カモ知レマセヌガ……

○子爵曾我祐準君 私ハ是マデノ御質問ト少シ違フヤウナコトデスガ、心得ノ爲ニ承ッテ置キタイ、昨日以來、政府委員ノ御説明、又先刻農商務大臣ノ御答辯中ニ、チヨイノ見エマシタケレドモ、ハッキリ分リマセヌガ、此日本國ニ產出スル食料品ハ、日本人ノ満足ニ食ベ得ルケケアリマスガ、又今一ツハ年々人民ガ増シテ行クダケ、ソレダケ食料ノ產額ガ増シテ行キ居ルカ、少シ足ラヌヤウナ風ナ語氣ニモ聞エレバ、足ルヤウナ語氣ニモ聞エマス、今日御調ベノ結果ハ現在ノ產額ハ、日本ノ現在ノ人間ヲ養ウテ餘リアルカ、足ラナイカ、又年々増シテ行ク所ノ人口ト、増シテ行ク所ノ開墾地ナリ、或ハ肥料ノ結果ナリ、學問ノ結果ナリテ、増シテ行ク所ノ產額トガ價ヒ得ル御見込デアアルカ、極ク簡單ナコトデアアルカ此御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 此國民ノ糧食ノ供給ニ關スル、需要供給ノ關係ハ如何ナル狀態デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ重大ナル關係ガアルノデアリマシテ、政府モ從來カラ慎重ニ調査ヲシテ居ルノデアリマスルガ、既往ノ狀態ハ御承知ノ通り、平年作ハ唯今ノ所デ約四千六百萬石ト云フノデアリマス、然ルニ國民一般ノ消費シテ居ル所ノ額ハド位デアアルカト云フト少シク足リマセヌ、既往十年間ノ平均ニ於テ、臺灣ノヲコチラニ入レマシテモ約二百五十萬石カラ二百萬石ツツ足ラヌコトニナッテ居リマス、然レバ將來ハドウ云フコトニナルカ、斯ウ云フ點デアリマスルガ、是ハ前刻農商務大臣カラ御話ガゴザイマシタル通り、日本ノ人口ハ約五十五萬カラ六十六萬アツテ是カラ殖エテ行ク、既往ノ人口ノ増加ノ計數ヲ標準トシテ將來ヲ推測シテ見ルト、先ヅ二十年先キニハ約七千萬、七千八百八十萬ト云フ計數ニナッテ居リマスガ、大體ニ於テ是カラ二十年先キヲ考ヘテ見マスルト、約七千萬人ト云フコトニナルノデアリマス、人口一人ノ米ノ消費率ハド位デアアルカト申シマス、唯今ノ所デハ九斗七升ト云フ平均ニナッテ居リマス、尤モ是ハ統計上ノ數字デアリマスルカラ、御承知ノ通り日本ノ人口統計ト雖モ精密ヲ缺イテ居ルシ、又米ノ產額ノ統計ト雖モ是ガハッキリシタル計數デアアルト云フコトヲ申スコトハ出來マセヌケレドモ、大體カラ申シマスル中ラズト雖モ遠カラズト云フコトハ言ヘマスルガ、先ヅ其統計ノ數字ヲ以テ見ルト、五十六年前マデノ統計ニ依ッテ見ルト、人口一人ノ消費率ガ九斗五升ト云フモノデアリマシタガ、現在デハ九斗七升ト云フ位ノ消費率ニナッテ居リマス、尤モ是ハ酒ニ造ルノモ其他各種ノモノニ潰スモノモ合セテ消費率トシテ見ルト、九斗七升トナッテ居リマス、然ルニ追々世ノ中ハ進シテ費澤ニナルト云フコトモ想像ヲセヌナラヌカラ、先ヅ大體ニ於テ一人ノ消費率ハ一石ト見レバ大丈夫デアアルト云フ計數ヲ立テテ居リマス、サウスルト三十年先キニ日本國民ノ米トシテ需要スル高ガ約七千萬石ト云フ算盤デアリマス、尤モ代用品タル麥ナリ、其他各種ノモノモアリマス

ガ、サウ云フモノハ矢張り同様ナ率ハ要ルモノト假定イタシマスケレドモ、其方ハ別問題ト致シマシテ米ダケハ日本國民ノ三十年先キノ要スル數量ハ約七千万石ト云フモノヲ推定シテ誤リナカラウカト考ヘマス、然レバ其七千万石ハドウ云フ風ニシテ供給スルコトガ出來ルカト云フコトハ矢張り大事ナ問題ニナリマス、其點ニ付キマシテハ米ノ生産額ヲ増額スル餘地ト云フモノハ調査ノ結果ニ依レバ、マダ餘ホド多イ、日本小ナリト雖モ、又將來ニ於テ從來耕作シテ居ルモノモ栽培技術ノ改良ナリ、其他各種ノ農業上改良ヲ行ハレタ上ニ付キマシテハ餘ホド増スト云フ途ハアル、現在ノ段當リノ平均年作ガ一石七斗ト云フ收穫ニナツテ居ル、ソレハ段々從來ノヤリ方ナリ、又各種ノ方法ヲ以テ試驗ヲシテ結果ヲ見ルト、年作テ少ナクモ段當リ一石ニスルコトハ決シテ困難ヲ無イト云フコトヲ技術上認メテ居ルノデアリマス、即チ水田二百九十二万町歩ニ對シテ一石七斗ノ平均ノモノガ二石ニ殖エルト云フコトニナツテ、ソレニ依テ需要シテ居ル高、……是カラ先キ水田ヲ如何ニ擴張ガ出來ルカト云フコトニ付イテ調ベテ致シマシテ、其方カラ申シマスルト開墾ヲ是カラ先キヤツテ行ク所ノ土地ニ於テ水田ヲ幾分ヲ殖ヤスコトガ出來ルノト、現在、畑ゴザイマスモノ、之ヲ地目變更ニ依テ田地ニ變ヘル、是ガ隨分見込ガ多ウゴザイマス、委シイコトハ計算ヲシタモノガゴザイマスカラ、御必要アレバ更ニ計數ヲシテ書面テ差上ケマスルガ、大體サウ云フ計數ヲ取ツテ三十年先キニ於テ日本テ米ノ産額ガドウクラ井出來ルカト云フ見込ヲ付ケテ見マスルノニ、先ヅ六千五百万石乃至モウ少シ上ノ所ノモノダケハ日本テ産額ヲ年作トシテ取ルコトガ出來ル見込ハ推定シテ誤リ無イデアラウト云フ考ヲ有ツテ居リマスルガ、尤モ此栽培技術ノ進歩ト云ヒ、又各種ノ資本ヲ下ロシテ土地ノ改良ヲ行フト云フ上ニ於テハ、謂ハユル經濟ニ於テハ相當ノ算盤ガ取レルト云フコトガ伴ハナイト、ソコマテ行クコトガ出來ヌダラウト思ヒマスケレドモ、假ニ内地ノ要スル所ノ米ハ内地人ヲ以テ是非トモヤラネバナラヌト云フヤリ方ニ考ヘテ見ルト、内地人ニ要スル米モ三十年先キニ内地テ供給スルコトハ困難ナシ餘地ガアルト云フコトハ申サレルデアラウト思ヒマス、併ナガラソレハ内地テ供給スル方ガ經濟上利益ナリヤ、但シハ向フニ控ヘテ居リマス韓國ナリ滿洲ナリ其他海外諸國カラ幾分ヲ輸入スル立テ方ニスルガ利益ナルカト云フ問題ハ、先ヅ別問題トシテ講究ヲ要シマスルガ、内地ニ於テ餘地アリヤト云フ問題ニナツテ見ルト、大體ニ於テ先刻農商務大臣カラ御話ニナリマシタ通り二十年或ハ三十年先キノ日本人ニ供給スル糧食ハ略、内地テ供給スルコトガ出來ル、幾分不足スルト云フ位ナ計數ト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 穀雜ト云フモノモ其一部分ハ人間ノ食料ニナルカノヤウニ思ヒマス、獸畜ノ食料ニモナリマセウシ、ソレハ今ノ人間一人一石ノ平均、雜穀ハ何升ト云フ平均算ニナルノデアリマスガ、又雜穀ハマルテ關係ガ無イカ、又雜穀ガ人間ノ食料ニ關係アリトスルト、今御議論ノ水田ヲ擴ゲル爲ニ、即チ雜穀ノ出來居ル畑地ガ水田ニ變ズルダケ雜穀ガ減ズル譯ニナリハセウカ、是ガ第一、ソレカラ第三ハ臺灣自身ハ臺灣ヲ一箇國ト見テ其人間ガ食ツテドレクラ井今日ハ剩ルカ、又不足ハ必ズ出マセウカ米ニ付イテ、ドウクラ井剩リガアルカ、此點ヲ……

○政府委員(下岡忠治君) 麥ハ唯今ノ所テ一人當リガ四斗二升ト記憶シテ居リマスガ、ソレダケア、年々消費シテ居ル狀態デアリマス、是ハ日本ノマダ水田ガ二毛作ト云フモノハ小部分デゴザイマシテ、全體カラ言フト一毛作ノ方が多イ、勿論東北地方ノ如キ寒冷ナ方面テ將來二毛作ヲヤルコトハ是ハ容易ニ出來マセウケレドモ、追々麥ノ需要ガ殖エルコトニナレバ現在一毛作アル所ヲ更ニ進シテ二毛作ニスルト云フコトハ決シテ出來得ナイコトハナイ、別ニ他ノ方ノ作物ヲ侵害スルコトヲセズシテ麥ヲ殖ヤス見込ハ付イテ居ルト思ヒマス、是ハ先ヅ三十年先キニ假定シテ見ル所デアリマス、現在ガ二千万石ト云フ額ニナツテ居ルノヲ三十年先キニハ一毛作ノ擴張、及開墾地ノ一部テ麥ヲ作ル立テ方ニ據ルコトニシテ見ルト云フ所カラ推シテ見ルト、二千万石ニスルコトハ出來ル見込ガアリマス、ノミナラス唯今申シタコトニ附加ヘマスノハ、現在ノ麥作ノ段當リノ收穫ハ極ク少ナイ、之ヲ殖ヤスコト云フ見込ハゴザイマスカラ、サウ云フ點カラ推シテ計數ヲ取ツテ見ルト二千万石以上ニ上ホスト云フ見込ガアリマスカラ、外ノ作物ヲ侵スト云フコトヲセズシテ最モ重要ナ代用食物タル麥ヲ擴メルト云フ餘地モ澤山アリマス、ソレカラ其他ノ大豆及粟、稗、黍、蕎麥、玉蜀黍、馬鈴薯、甘藷ト云フモノニ付キマシテハ是ハ餘ホド田ヲ侵スト云フコトヲセズシテ見込モアラウト思ヒマス、殊ニ馬鈴薯、甘藷ト云フモノハ非常ニ擴メルコトガ出來ルノデアリマシテ、例ヘバ鹿兒島縣テ大島ト云フ所ノアノ小サイ所デアツテ人口ガ非常ニ澤山アリマスガ、アコノ常食ハ殆ド甘藷ト云ウテ宜イ位デゴザイマス、アノ甘藷ト云フモノヲ國民ノ糧食ニスルコトニテモスルコトデアレバ大變殖ヤスコトガ出來ル、僅カナ耕作ニ依リ僅カナ段別ニ依ツテ一人當リノ食糧品ヲ供給スル二十分行ケマスカラ、尤モサウ云フ風ニシマスルト生活ノ程度ガ下ガレドゴザイマスガ、退歩ト云フコトニナリマスカラ無論サウ云フ譯ニハ參リマセウガ、雜穀類ヤ外ノモノヲ侵害スルコトナクシテ相當ニ擴メテ行クト云フ餘地ハ唯今ノ所テハ十分デアラウト云フ考ヲ有ツテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ臺灣テゴザイマス、臺灣ハ唯今内地ニ輸入スル額ハ多キハ百万石、少キハ五十万石ト云フ位ニナツテ居リマス、先ヅ何年先キト申ス譯ニハ參リマセウガ、十年ナリ十五年先キニ於テ臺灣カラ内地ニ輸入スル額ガ、平年トノ位デアラウト云フコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、先ヅ二百万クラ井内地ニ供給スルコトハ出來ルト云フ考ヘテ有ツテ居リマスルガ、御承知ノ通り臺灣テハ砂糖ノ耕作ト云フコトト、米ノ耕作ト云フコトト、二ツガ競ツテ行キ居ルト云フ狀態デアリマス、砂糖ノ方ハ御承知ノ通り非常ニ保護策ヲ採ツタ結果、見込通りニ進シテ行ツタデアリマスガ、併シ砂糖モ供給多量ト云フコトハイカヌモノデアリマスカラ、耕作ノ區域モ相當ニ決マラナクヤナラス、其以外ノ所ニハ成ルベク米田ト云フモノガ、ドウシテモ行ハレザルヲ得ナイコトニナツテ居リマス、アチラテハ御承知ノ通り二度作ルト云フヤウナ狀態テ、米作トシテハ非常ニ適當ノ場所デゴザイマスカラ、將來アノ方面ニ於ケル相當ナル施設經營ヲヤルト云フコトニシマスレバ、隨分臺灣ノ米ハマダ産額ヲ殖ヤス餘地ガゴザイマス、先ヅ十年十五年ニ於キマシテ、二百万石クラ井内地ニ持ツテ來ルコトガ出來ルト云フ推測ヲ下シテ居リマス

○子爵曾我祐準君 先刻御答辭中ニゴザイマシテ表ハ、ドウツ頂戴願ヒマス

○下郷傳平君 私ハ大體ニ付イテテヨット伺ヒタイト思ヒマス、此度ノ改正案ハ收入主義ニ保護主義ヲ加味スルト云フ御説明デアリマスガ、品目悉ク皆其收入主義ニ保護主義ヲ加味シタモノデアリマスガ、又其中ニハ保護主義ヲ臺ニシテ、ソコニ收入主義ヲ加味シタ

モノアラウカト察セラレマスシ、又唯單ニ收入主義若クハ保護主義ト云フモノガアリマ
スルテゴザイマセウカ、アリマスレバ、其物ニ付キマシテ、最モ適切ナル物ヲチョット御聞カセ
テ願ヒタウゴザイマス、又其外ニ大分世間問題トナッテ居リマス、藍トカ、紙トカ云フ如
キ物ニ付キマシテモ、御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ先刻鎌田サンカラ御尋ニナリマシテ、私ハ
聞漏ラシマシタカラ、今一應伺ヒマスガ、此雜穀ノ課稅ニ付キマシテ、政府ノ原案ハ收
入主義ニ重キヲ置カレマスルカ、保護主義ニ重キヲ置カレマスルカ、ソレモ併せて伺ッテ置
キタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今、收入主義、保護主義ト云フコトノ御問デアリ
マスガ、此關稅率ガ全體ヲ通シテ、收入ヲ得ル目的ヲ有ッテ居ルト云フコトハ、總テ
有ッテ居ルト申上テ宜カラウト思ヒマス、無稅ノ外ニ唯保護云々ト云フコトニナリマス、
物ニ依ッテ色々厚薄ガアルデアリマス、例ヘバ第三類ノ飲食物ト云フヤウナモノノ中ニ於
キマシテハ、別ニ是マデ稅ヲ課ケテ居ル内地ノ産業ガイケナイ、成立タヌト云フヤウナ必
要ナクシテ、矢張り二割四割ト云フ稅ヲ課ケテ居リマス、其點ヲ見マスト、ソレハ詰り收
入ヲソレヨリ得ル目的ガ主トナッテ居ル、斯ウ見ナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ又衣服
附屬品ト云フ部類ガアリマス、此中ニ包括シテ居ル所ノ品物ハ御一覽ニナッテ御分リニ
ナリマス、謂ハルニ衣服ノ附屬品、身體ニ著ケル所ノ種々雜多ノ品物デアリマシテ、割合
ニ高イ稅ガ按排シテアル、中ニハ内外ノ産業ノ關係ヲ見テ適當ノ稅率ヲ決メテト云フモ
モアリマスケレドモ、或ハ其中ニハサウテ無ク是ハ人ノ消費ニ屬スル物、此消費品ニハ相當
ノ稅ヲ課ケテ宜シ、斯ウ云フ考ヲ以テ主トシテ收入ヲ得ル目的ヨリ課ケタモノモアリマス
ガ要スルニ唯今ノ收入主義、保護主義ト云フコトハ、一概ニ品物ニ付イテ申ス譯ニ行カ
ヌデアリマシテ、或ハ内地ノ産業、收入主義ト云フバカリデモナク、其物ヲ直接ニ保護ス
ルノミデナクシテ、其物ノ稅ヲ輕クスルノハ、一方ニ於テ内地ノ産業ヲ盛ニシナケレバナラ
ヌ點カラ言ヘバ、矢張り其内地ノ産業保護トモ言ヘルダラウト思ヒマス、唯稅ノ高イ低イ
ヲ見テ保護テ有ルトカ保護テ無イトカ申サレマセヌ品物ヲ無稅ト致シタノモ、是亦内
地ノ産業ヲ發達助長セシムル方面ヨリ見レバ、ソレモ保護ト見エルデアリマス、大體ニ
於キマシテ、固ヨリ關稅率ヲ設ケルノハ、收入ヲ得ル目的デアルト云フコトハ申スマデモナ
イコトデアリマス、産業保護ノ點ニ至リマシテハ農工商各般ノ關係ヲ見テ定メナケレバナラ
ヌデアリマス、其各般ノ關係ヲ見テ稅率ヲ定メタルモノデアリマス、ソレカラ米、小麦、
其他雜穀類ニ付キマシテモ、是ハ大體先刻モ申上ゲマシタガ、無稅トシ、又高イ稅ヲ課
ケル特別ノ理由ノアル物ヲ除キマシテ、此品物ノ性質、用途、ソレヲ考ヘマシテ、サウシ
テソレニ適應スルヤウナ稅率ヲ増減按排イタシマシタ、其點カラ見マスト云フト、農産
品等デアリマシテモ、ソレガ製造工業ノ原料ニナルモノハ稅ヲ輕クスル、又一般ノ食料
品、斯ウ云フヤウナ物モ稅ヲ重クスルコトハ、是ガ工業ノ關係ヲ見レバ、相當デナカラ
ウ、斯ウ云フ物ハ成ルベク低イ稅ニシテ、日常必要ノ食料品ノ如キハ輕イ稅ニスル方ガ
相當デアラウ、斯ウ云フ考ヨリ極ク好イ稅率ヲ按排シタノデアリマス、是ハ現行ノ稅率
ガ相當デ、一割五分ガ至當デアルト斯ウ云フ風ニ定メテ次第デアリマス、是亦米ト同様
ニ收入主義ニ偏シタ譯デアリマセヌ、又保護主義ノミニ偏シタト云フ譯デナク、詰
リ雙方ノ中間ヲ……中庸ヲ取ッテ定メテ、斯ウ申上ゲルヨリ外ナイト思ヒマス

○男爵目賀田種太郎君 チョット伺ヒマスガ、此日本ニ輸入スル外國米ハ概シテ惡ル
イ米デ即チ劣等ノモノデアアル、一般ノ人民ノ食用ニハナラナイイラト思ヒマスガ、或ル階
級ノ人ノ食料ニハナラウラウト思ヒマス、果シテサウデゴザイマスルカ、ドウカソレヲ伺ヒタイ、
又果シテ或ル階級ノ人ノ專ラ食料ニ供セラレルモノデアッタナラバ、茲ニ關稅ガ原案ノ如
ク、斯ノ如ク上ツタ時分ニハ負擔ハドウ云フ風ニナリマスルカ、例ヘバ是ガ貧民ノモノ食
料トスル所ト見テ行ツタナラバ其負擔ハドウ云フ風ニナリマスルカ、其邊ガ御分リニナリマスナ
ラバチョット御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 外國米ノ輸入ハ御承知ノ通り主トシテ英領印度、佛
領印度カラ這入ルノガ多分ヲ占メテ居リマス、韓國ヨリモ這入リマスガ、韓國米ノ輸入
額ト云フモノハ餘リ多クハゴザイマセヌ、米ノ總輸入額ノ一割餘クヲ非ニシカ當リマセヌ、
其餘ハ印度米デアリマシテ、是等ノ米ハ無論一般ノ人ノ普通ノ食用ニハナリマセヌ、殊ニ
都會地ノ者ニナリマシテハ中流以上ノ人ハ到底之ヲ用非ナイモノデ、是等ノモノハ多ク勞働
者、又一層ノ下層ノ貧民ノ食料ニテッテ居ル、斯ウ云フ關係デアルト考ヘマス、殊ニ鑛山地
方ノ勞働者ニ多ク此米ハ用井ラレテ居ルト云フコトニ承知シテ居リマス、左様ナ有様デアリ
マスルカラ假ニ此米ノ輸入稅ガ衆議院修正ノ如クニ一石一圓ニ致スト致シマスト云フ
ト、百斤ニ付イテ二十六錢増シマス、若シ是ガ全部米ノ負擔ニ係ルト致シマスレバ、サウ
致シマスト云フト一石九十錢ノ稅ガ増ス、即チ九十錢ノ餘計ノ金ヲ拂ハニヤナラヌト云
フコトニナリマシテ、試ニ勞働者一家ニ五人ノ家族ヲ有スル、一日ノ消費高ヲ一升ト致
シマスト一箇月間ニ勞働者ガ受ケル所ノ米ノ稅ガ凡ツ五十四錢トナル譯デアリマス、是
ハ增稅ノ結果ガ輸入米ノ價格ニ及ブト見テ計算イタスト斯様ナ結果ニナルノデ、其米ノ
騰貴ノ爲ニ負擔ヲ増スト云フコトハ斯カル關係ヲ持ッデアラウト思フ、尙ホ米ノ價格ノ
騰貴ト共ニ他ノ物價ニモ間接ニ影響ヲ及ボスコトモアラウト思ヒマスルカラ、下級ノ勞働
者ニ取ッテ米ノ直段ガ騰貴ト云フコトハ困難ノ實況デアラウト斯ウ考ヘマス

○關清英君 農商務大臣ニチョット御伺ヒシタウゴザイマス、先キホド目賀田男爵カラ
御尋ニナリマシテソレニ對シテ參考トシテ同大臣ヨリ御述ベニナリマシタガ、誠ニ農事ニ熱
心ニ御盡シニナッテ居ル狀態ヲ承リマシテ甚ダ満足イタシマス、付キマシテハ御演說中ニ
ハ御明言モアリマセヌデアツタガ、其御趣意ヲ伺ヒマスルニ、此農事ヲ改良イタシテ參
バ自然ニ米價モ下落ヲナス、即チ生産費用ヲ減ズルノデアアル、ソレデアアルカラ其曉ニ達ス
ルマデハ此海關稅モ矢張り政府ヲ定メラレタル所ノ額ヲ以テ至當ト爲スト云フヤウナ意
味ニ承知イタシテ宜シト云フコトデアゴザイマスルカ、果シテサウ云フコトニ承知イタシテ宜
シト云フコトデアゴザイマスレバ、尙ホ一步進シテ伺ヒタウゴザイマスノハ、土地ヲ開キ技術ヲ
進メ肥料ヲ改良シ又牛馬耕ヲ爲ス等ノコトヲ以テ改良ヲ圖レバ其圖ツタ結果ハ生産額
ニ於テドレダケノコトヲ減得ラレルノデアアルカ、其ノ減ツタ所ヲ以テ、例ヘバ米價ガ八圓臺
ニ下落スルトシテモ農家ニ於テハ尙ホ之ニ對シテ相當ナ利益ヲ得ラル、ト云フ御見込
デアアルカ、其邊ノ所ヲ一ツ伺ヒ置キタウゴザイマス

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今、關君ノ御尋デアゴザイマスガ、此米價ノ下落、
米價ノ騰貴ト云フヤウナコトハ、人爲ヲ以テ動かスコトノ容易ニ出來ナイモノダラウト私
ハ考ヘテ居リマス、ソレデ農事ノ改良ヲ圖ツテ而シテ將來我國ニ前キニ申上ゲマシタ通り

平年作ハ四千六七百万石トナリテ居ルノヲ段々耕地整理ヲヤリ或ハ肥料ノ改良ヲヤリ、或ハ牛馬ノ蕃殖ヲ圖リテ、サウシテコ、十年カ二十年ノ間ニ平年作ヲ七千万石グラ井ニシタイモノゾト云フ望ヲ有シテ居リマスガ、其時ニ至リテ米價が果シテ廉クナルカ高クナルカト云フコトハ、是ハナカク、私ニハ明言ハ出来ナイ、ソレハ人爲デ爲スベカラザル場合ガアル、世ノ中ノ形勢ニ依ッテ天下ノ經濟界ニ勿論伴ハナクテハナラヌ問題デアラカラ、其中ニドウ云フ變事ガアルカ色々ナ事ガ起リマスカラシテ、ソコハ何トモ今申上ケルコトハ困難デアリマス、大概我國ニ七千万石グラ井ノ米ガ出来ルヤウニナレバ自然ニ農家ノ力ヲ増スト云フコトハ疑ガ無イト考ヘマス、此邊テ御了解ガ出来レバ幸デス

○委員長(侯爵黒田長成君) 一應休憩イタシマス
午前十一時五十九分休憩

午後零時五十二分開會

○委員長(侯爵黒田長成君) 午前二續イテ開會イタシマス

○下條正雄君 第一類ニ付イテハ大分質問モ進捗シタヤウニ考ヘマスガ、ナカノハハ大部ナモノデアリマスカラ別ニ御質問ノ御請求ガ無ケレバ御進行ニナツテハ如何デアリマスカ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵黒田長成君) 最早第二類ニ付イテハ餘ホド質問ガ數ヲ重ネタヤウニ思ヒマスカラ次ニ移リマス、第三類ニ移リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第三類ノ類別ハ現行ト格別變リハアリマセヌ、其中ニ包括シテ居ル品物モ御覽ノ通り大抵、直接消費ニ屬スル品物デアリマシテ、多クハ嗜好品ト云フヤウナモノモ、中ニ見エス、サウ云フ性質ノ品物デアリマスカラ關稅率ヲ定メマスル時ニ當リマシテ割合ニ高イ稅率ガ定メテアリマス、併ナガラ之ヲ現行ノ國定稅率ニ御比ベニナリマスルト幾分、稅率ヲ却テ低メタモノモ數多アリマス、此中特ニ八割ト云フ高イ率モ見エマスガ、是ハ酒及砂糖、又ズト高イモノハ三十五割ト云フモノモアリマスガ、是ハ煙草ノ專賣ノ關係ヨリ斯様ニ上ガツテ居ルデアリマス、此類ニ付イテ衆議院ノ修正ガ一々廉アリマスガ、一ニハ「コンデンスドミルク」……五十五デアリマス、原案ノ四割ト云フノヲ大體二割見當ニ減シテアリマス、百斤五圓五十五錢ト修正シマシタ、モウ一ト廉ハ葡萄酒ノ中ノ一種デアリマシテ、每百「リートル」十二圓デアリマシタノガ十五圓ニ増シテアリマス、六十四ノ「一」甲ノ「イ」デアリマス、十二圓トアルノヲ十五圓ニ修正ニナツテ居リマス、三圓増シマシタ、「コンデンスドミルク」ガ原案ハ四割ト致シマシタノハ「コンデンスドミルク」ニハ御承知ノ通り製造ニ使ヒマス砂糖、此砂糖ハ消費稅ヲ今日ハ免除シテアリマス、ソレヲ原案ニ四割ニ致シマシタノハ消費稅ノ免除ハ關稅法ノ改正ト共ニ廢メルト云フ目的ヲ以テ四割ニ致シタノデアリマスルガ、衆議院ニ於テ之ヲ一割ト致シマシタ趣意ハ現行デヤツテ居ル砂糖ノ消費稅ノ稅制ハ將來續テテ行クガ宜カラウ、サウ云フ風ニスレバ一割ニ減シテモ内國ノ「コンデンスドミルク」ノ製造業ガ相當ニ成立シテ行ケルカラ其方ガ適當デアアル、且ツ此品物ハ贅澤品デモ無ケレバ嗜好品デモ無イ、殊ニ中流以下ノ家庭ニ於テ小兒ノ哺育上ニ必要ナモノデアラカラ稅ノ高イノハ相當デナイ、成ルベク低イ方ガ宜シイ、斯ウ云フ理由ヲ以テ二分

ニ減シマシタノデアリマス、之ニ付イテハ政府ハ原案ヲ固執シマセヌ、ソレカラ葡萄酒ノ中ノ「一」甲ノ「イ」デアリマス、百「リートル」十二圓ヲ十五圓ニ増シマシタ、是ハ衆議院ノ修正ノ趣旨ハ内地ニ於テモ葡萄酒ノ製造ガ今日出来テ居ル、山梨縣新網縣等ニ於テ製造ガ出来テ居ル、今日マデハ葡萄酒ノ協定ノ一割ト云フ廉イ稅デアツテ到底外國ノ葡萄酒ノ爲ニ壓倒サレテ内國ノ葡萄酒ハ頗ル困難デアル、先ヅ普通ノ葡萄酒ハ今後ヤツテ行ケバ出来ルデアラウ、成ルベク出来易イヤウニ幾分上ボセルガ宜イト云フ趣意ヲ以テ之ヲ十五圓ニ増シタコトデアリマス、此點ニ付イテ政府ハ強ヒテ反對ヲ申サヌデアリマス、尙ホ其他御質問ガゴザイマスレバ……

○下條正雄君 「コンデンスドミルク」ノコトニ付イテハ、今日内地ノ產出高ト外國ノ輸入品ノ高ト御比ベニナツテ居ルモノガアリマスレバ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 「コンデンスドミルク」ノ輸入額ハ四十一年ニ二百二十八萬圓這入ツテ居リマス、ソレカラシテ内地ノ出來マス製造高ハ、是ハ「ポンド」デアリマスガ、四十一年四月ヨリ四十二年三月ニ至ル約一箇年デアリマス、其間ニ五十二萬四千「ポンド」デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 第三類ハ飲食物煙草等デゴザンスルカラ、之ニ對シテ大體ノ質問ヲ致シマスガ、是ハ寧ろ農商務省ノ側ニ向ツテ伺ヒタイデアリマス、近來往々承ルデゴザイマスガ、確詰トカ其他種々ノ蔬菜、果實、色ミナ飲食物、若クハ酒類ノ如キ、追々内地ニ於テハ餘ホド不當ナル高價ニ赴イテ、ソレガ爲ニ外國人ノ日本ニ住居スル者等ハ、困難ヲ感ズルト云フヤウナ噂ヲ聞キマス、又營業者ヨリモ種々ナ困難ノ情況モ承ル、ソレハ寧ろ輸入物ニ高稅ヲ課セラレテモ、之ニ代ル内國品ガ有レバ宜イデゴザイマセウガ、相當ナル内國品ガ無イガ爲ニ煙草ニシテモ、其他蔬菜果實等ニシテモ、右ノ如ク餘儀ナク高イ品ヲ買ハニヤアナラヌコトナル、ソレデ一方ニ於テサウ云フ飲食物ノ或ル種類ノ物ニ高率ヲ課セラルト同時ニ、一方ニ内地ニ於テ之ガ供給ヲ便利ニスルト云フ方針ヲ採ラレテ居ルデアラカ、ドウカ、ソレヲ承リタイ、ソレカラソレヲ御尋スルト共ニ斯ウ云フコトハ私ハ混ジテハ居ラヌ、或ル物ハ日本ノ出來ル、出來ル物ハドコモデモ保護シテ參リタイ、出來ル物ト出來ナイ物トノ區別ハ有ラウト存ジマス、例ハ葡萄酒ノヤウナ物ハ、マダ高ハ少イケレドモ、内地ノ出來ルト私ナドハ見込ミマス、殊ニ朝鮮ナドハ將來餘ホド葡萄酒ノ製造ノ見込ガ有ルヤウニ考ヘマス、ソレ等ノ區別ハゴザイマス、ソレ故ニ今申シマスル如ク、非常ニ一方ニ飲食物ガ高クナルト共ニ、之ニ代ル物ヲ内地ニ於テ供給ヲ計ラレテ居ルノデゴザイマセウカ、其邊ヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(大久保利武君) 目賀田男爵ノ御問ニ御答イタシマスガ、此確詰類其他飲食物ノ全體ニ付キマシテ、内地ノ物價ノ、外國ニ比ベルト云フト、餘ホド高價ニナツテ居ル、隨ッテ日本ノ生活費ガ高マルト云フヤウナコトモ是マデ往々ゴザイマスノデ、此第三類ノ稅率ヲ盛リマシタ上ニ付イテモ、其邊ノ事ハ餘ホド考慮ヲ運ラシマシテ、到底内地ノ出來ヌヤウナ物、又保護ヲ加ヘレバ相當ニ發達スルト云フヤウナ物ハ、餘ホド斟酌シテヤツテ居ル積リデゴザイマス、例ハ「確詰類」ノ如キ、又肉類ノ如キト云フヤウナ物ハ、ソレトモ稅率モ一定ニハ行ツテ居リマセヌ、大體カラ申上ケマスルト云フト、飲食物ハ農業ノ方カラ申シマスルト、十分保護ヲ加ヘタイト云フ希望モアリマス

ルケレドモ、消費者ノ側モ見テ、彼是權衡ヲ取テヤツタ積リデアリマス、併ナガラ其品物ノ中デモ、「バター」デアルトカ、「チーズ」デアルトカ、「コンデンスミルク」トカ云フヤウナモノノ如キハ、畜産ノ利用ノ上ニ付イテ非常ナ關係ノ有ルモノデ、折角政府デ畜産ヲ獎勵イタシマシテモ、其畜産ノ利用ト云フモノニ付イテハ、副産物ハ、極メテ大ナル關係ガ有リマスノデ「バター」ハ四割トカ「チーズ」モ四割トカ「コンデンスミルク」モ四割トカ、隨分飲食物トシテハ低カラヌ率デアリマセウケレドモ、是等ハ畜産ノ利用ノ上ニ付イテ、ドウシテモ此位ニセヌト云フト、外國カラ這入ッテ來ル品物ニ對シテ競争ガ出來マセヌカラ、折角畜産ヲ獎勵シマシテモ、斯ウ云フ利用ノ方法ガ立タヌト云フト、畜産ノ獎勵ノ效果ガアリマセヌカラ、四割ト云フ率ヲ矢張維持シテアリマスノデ、大體申上ゲマスト云フト、餘ホド消費其ノ側モ見テ此率ハ盛テアリマスノデ、例ヘバ肉類ノ中ニ於テモ、牛肉ト云フヤウナ多數ノ消費ニ關係アル物ノ如キハ、特ニ一割ヲ下ゲテ、現行ノ二割ヨリモ下ゲテアル例ニ依ッテモ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、餘ホド其邊ノ所ハ考慮ヲ運ラシテ決メテアルノデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 御質問ガゴザイマスカ、次ニ移リマセウ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第四類ハ「皮毛骨角齒牙甲殼類及其ノ製品」デアリマス、是モ大體現行ノ率ト變リハ有リマセヌ、此中ニ這入リマス所ノモノハ種々ノ製造工業ノ原料トナルモノモ中ニ這入ッテ居リマス、ソレデアリマス故ニ稅率ハ無稅カラ五割ノ高イモノマデ這入ッテ居リマス、稅率ノ程度ハ大體、現行ト餘リ變テ居ラヌト申上ゲテモ宜イデアリマス、其中、衆議院ニ於キマシテハ七十一項ノ「獸皮」ノ「牛皮及水牛皮」、斯ウ云フヤウナモノヲ無稅ニスル修正ガゴザイマス、其理由ハ今日、日本ニハ皮類ノ製造ガナカク、進ンテ居ル、併ナガラ其牛皮及水牛皮ノ供給ト云フモノハ矢張り外カラ仰ガナケレバナラヌモノデアアル、皮ノ製造業ト云フモノハ隨分出來ルケレドモ原料ハ十分デアアルガ爲ニ今日テハ外國カラ製造シタモノヲ入レルヤウニナッテ居リマス、是ハ産業上ノ利益ノコトデアアルカラシテ、水牛皮ヲ無稅ニシテ、サウシテソレヲ製造シタ所ノ皮類ヲ輸出スルコトノ出來ルヤウニ、又其皮類ヲ以テ色ミナ輸出ノ製造品ヲ造ルガ宜イト云フコトデ、牛皮及水牛皮ノ原案ノ五分ヲ無稅ニスルト云フ修正ガゴザイマス、之ニ付イテハ政府ハ是亦原案ヲ主張イタシマセヌ、其他格別此中ニハ説明ヲ申上ゲルヤウナコトハ這入ッテ居リマセヌ

○中島永元君 今御尋スルノハ時機デナイカモ知レマセウケレドモ、段々此中ニ協定稅率デ是マデヤツテ來タ稅目モアリマスカラ、チヨット茲デ御尋ヲ致シタウゴザイマス、成ルホド此國定率ノ上テハ新舊比較シテ格別變動ハ無イ、中ニハ却ッテ稅率ヲ減ジタモノモアル位ノコトデアリマスガ、是マデヤツテ來タ協定稅率、コレガ隨分澤山アツテ、直接ニ協定稅率ヲ取リキメテアル所ハ英、佛、獨ノ國デ其數ハ少ナウゴザイマセウケレドモ、最惠國條款ニ依ッテ均霑シテ居ル國ガ澤山アラウト思ヒマス、ソレデ愈々此國定稅率ヲ總テノ對手國ニ向ッテ國定稅率ヲ適用スルヤウニナレバ、是マデ協定稅率ヲ貿易易シテ來タ國ハ、餘ホド大ナル影響ヲ及ボスデアラウト思ヒマス、ソレ等ノ國ニハ我が國定稅率ヲ適用スルニ付イテ復讐ノ二何カ又向フノ稅率デモ高メルト云フヤウナ眞ハアルマイカ、其邊ハ如何ノ御見込デゴザイマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ御問デアリマスガ、此稅率ノ中テ協定ノ關係ノアリマシテ輸入ノ額ノ多クナッテ居リマスル物品ハ七十二ノ革類デアリマス、其他タイシタル協定ハアリマセヌ

○中島永元君 總テノコトニ付イテ伺ヒマシタノデス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此類デアリマスルト、七十二ノ中ニ排列シテアリマスル革ノ中テ細カク申シマスルト、革類ノ一ノ内ノ二ノ「イ」デ「ローラーレザー」ト云フヤウナモノガ、是ハナカク、革ノ鞣シ方ガムツカシイ技術ニ屬シマシテ、ナカク、日本デモ急ニハ出來マイ、且ツ此需要ノ目的ガ紡績機械ニ用井ラレルモノデアリマス、是等ハ比較的稅率ヲ廉クシテアリマス、且ツ革ニ付イテ協定ノコトヲ申シマスルト、協定ノ稅率ハ一割乃至一割五分デアリマス、ソレガ今度ノ改正案ニ依ッテ二割ニ定マルノデアリマスカラ、此上ガリ方ハサウ著シイ上ガリ方デナイト思ヒマス、其他一般ノ御問デアリマシタガ、前ノ協定稅率ニ比ベマスルト、今度ノ改正案ハ増シタモノモゴザイマス、ケレドモ今度ノ稅率ヲ定メマスルニ付イテ協定ノ現行アリマスモノハ其ノ點ヲ大ニ參酌イタシマシテ單純ニ他ノ品物ト權衡上カラ見テ申セバ、モウ少シハ上ゲテモ宜シイト云フモノデアリマシテモ、現今ノ協定ガズツト低イ稅率デアリマスルモノハ、餘リ急激ニ増加スルコトハ穩當デナイ、唯今御心配ノヤウナコトモ考ヘマシテ他ノ權衡上ノミデナク、協定稅率ノ關係ヲ見テ幾分斟酌シタモノモ往々中ニハアリマス、ソレデアリマス此稅率ニシテ政府ノ見ル所デハ決シテ外國ニ非常ナ不利益ヲ被ラセルト云フヤウナコトニハナルマイト考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 第五類ニ移リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第五類ニモ亦此稅率ハ現行ト大差アリマセヌ、是ハ各種ノ油類ガ重モノナルデアリマス、此中ノ品物ニハ多少ノ協定ニ係ルモノモアリマスルガ、改正案ノ稅率ハ是亦現行ト餘リ變リマセヌ、現行ト少シク變リマシタ所ハ政府ノ原案ニ於キマシテハ九十五ノ「植物性揮發油」ト云フノ無稅ト致シデアリマス、現行ハ一割ノ稅ヲ課シテアルノ無稅ト致シタ、ソレカラ百十四、百十五、百十六、斯ウ云フモノニ少シク稅率ノ變更ヲ加ヘマシタガ、是ハ先年モ大分御論ノアツタ問題デアリマシテ、我邦ノ木蠟ト外國ノ蠟トノ關係デアリマス、此點ハ先般來、大分研究ヲ致シマシテ、今回ノ如クニ改正ヲ加ヘマシテ、内外産ノ間ノ權衡ヲ之ニ依ッテ圖リマシタ、此部類ノ内ノ輸入金額ノ大キイモノハ百十二デアリマス、原油並ニ石油デアリマス、是ハ政府ハ現行稅率ニ據置クノヲ相當ト見テ變更ヲ加ヘマセヌデアリマシタ、此部類ニ對シマスル衆議院ノ修正ハ植物性揮發油ハ原案ノ無稅ト云フノヲ從價一割ヨリ豫算シタ所ノ從量稅ヲ定メタデアリマス、芳香性ノ油ハ各種ニ區分イタシマシテ其一割ヲ以テ從量稅ヲ定メ修正ガゴザイマス、之ニ付イテハ強ヒテ政府ハ原案ヲ主張スルコトハ致シマセヌ

○前田正名君 政府委員ニ御尋シマスガ、衆議院ノ修正案ニ政府ハ御同意ナスツタノデアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今申上ゲマス通り強ヒテ原案ヲ主張イタシマセヌ

○前田正名君 尙ホ御尋シマスガ、此油類ハ金屬ニ對シテ餘ホド之ニ加工シテ輸出スル今勢ヒニナッテ居リマスガ、獎勵上政府ハ原案ヲ維持ナサルト云フ御見込ハナイノデアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 芳香性揮發油ハ是ガ輸出品ノ製造ノ原料ニナリマシテ石鹼其他ノ多クノ化粧品ノ中ニ用井マシテ外國、重モニ清國デアリマスガ、清國ニ輸出サレテ居リマスコトハ御問ノ通りデアリマス、政府ノ無稅ト致シタノモ其點ヲ考ヘマシテ、成ルベク清國ニ於テ獨逸其他ノ各國ノ競爭ノアリマスモノノ石鹼其他ノ化粧品ノ成ルベク輸出ニ便ラ圖ラウト云フ趣意カラ無稅ト致シ、其原案ヲ提出シタノデアリマスガ、衆議院ノ修正ノ趣意ハ餘リ委シクハ論セラレナカッタウデアリマス、輸出貿易ト云フ點モ固ヨリ見テ居ル、併ナガラ是等ノ品物ハ内地ニ這入ッテ香水香油ノ原料ニ使ハレテ居ルノモ實況デアアル、故ニ其點カラ見レバ、ソレ等ノモノニハ比較的高イ稅ヲ課シテ宜イモノデアアル、輸出ノ方ノミヨリ見レバ無稅モ宜シイカモ知レヌケレドモ、輸出ノミニ使ハレルモノデアナイ故ニ、高イ稅ハ宜シクナイケレドモ低イ稅ナラサウ差支ガナカラウト云フ趣意ヲ以テ一割ニ修正ラサレタモノト思ヒマス、左様ノ關係ガアリマスノデ、政府トシテハ固ヨリ最初ノ原案ヲ相當ナリト認メタノデアリマス、一方ニ於テ是等ガ奢侈品ニ用井ラル、モノデアルト云フ點モ亦是ハ相當ナルコトト思ヒマスカラ、其點ヲ以テ政府ハ強ヒテ原案ヲ主張シマセヌ

○男爵田健治郎君 礦油ノ所デチヨット御尋シタウゴザイマスガ、是モ第七條ノ第四ニ「陸海軍ニ於テ燃料トシテ輸入スル原油以外ノ礦油ニシテ攝氏十五度ニ於ケル比重〇、八七五ヲ超エタルモノ」トアリマスガ、是ハドウ云フモノデゴザイマセウ、第一ニ此意味ノチヨット書キ方ヲ御尋ネシマス、詰リ「陸海軍ニ於テ燃料トシテ輸入スル原油以外ノ礦油ニシテ」ト斯ウアリマスルカラ、サウスルト原油ハ稅ヲ陸海軍ノ用ト雖モ取ルケレドモ、併シツレ以外ノ礦油ニシテ攝氏十五度比重〇、八七五ヲ超エタルモノハ免稅ニスルト云フ譯デアリマセウカ、之ヲ委シク云ハバ陸海軍ニ於テ輸入スル礦油ニシテ攝氏十五度ニ於ケル比重〇、八七五ヲ超エタルモノヲ免稅ニスレ、但シ燃料トシテ輸入スル原油ハ此限ニ在ラズト云フ意味ニ當ルノデアリマセウカ、其解釋方ヲ第一ニ御尋シテ、而シテ第二ニハツレハ何ニ用井ルモノデアルカ、ドウ云フ品物デアルカト云フコトヲ一ツ御尋ネシマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 定率法ノ七條ノ方ハ陸海軍ニ於テ使ヒマス燃料ノ礦油ヲ免稅ニ致シマスルハ、ソレハ此稅表ノ中デ百十二ノ礦油ノ二デゴザイマス、二ノ丙ニ這入ルノデゴザイマス、稅表ノ方デ申シタト……即チ原油ハナイノデアリマス、原油以外ノモノデアリマスカラ一ニハ這入リマセヌデ二ニ這入リマス、二ノ丙ニ這入リマス、〇、八七五ヲ超エサルモノ「陸海軍ノ方デ免稅ニ致シマス」ハ「超エタルモノ」デアリマス、即チ丙ニ這入リマス、百斤一圓二二三錢ノ稅ヲ取ルモノガ、陸海軍デ燃料ノ爲メニ輸入スルトキニハ免稅ニスル、斯ウ云フ趣意デアリマス、陸海軍デ使ヒマスル重モノハ海軍ノ方デアリマス、海軍ノ即チ船ニ焚キマス油デゴザイマス、御承知ノ通り昨今ハ海軍ニハ先年來燃料ノコトノ研究ガアリマシテ大分、今日デハ油ヲ焚ク軍艦ガ出來テ居ル、其軍艦ニ焚キマス、陸軍ノ方ノ關係ヲ申シマストハ、餘リ多クハゴザイマセヌガ、今日デハ自動車アタリデハ焚イテ居リマス、其自動車ニ使ヒマスノガ唯今ノ所デ陸軍ニ使フノデアリマス

○男爵田健治郎君 今ノ所デモウ少シ伺ヒタイ、サウスルト原油以外即チ原油ヲ取除イタモノ、サウ云フモノヲ用井ルト云フノデゴザイマスガ、是ハ重油ノ性質ノモノデアリマセウガ、軍艦ナドニ用井ルノデアリマスカラ、詰リ原油ヲ除イタト云フノハ、ドウ云フ譯デアリ

マス
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 原油ハソレヲ直グニ軍艦デハ焚キマセヌ、原油ニ若干ノ加工ヲシマシテ、サウシテ焚クノニハ相當ニ製造シタ 其油デゴザイマス、ソレヲ用井マスカラ原油ハ軍艦デハ使ヒマセヌ

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ第六類ニ移リマス
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第六類ニ付キマシテハ各種ノ藥劑ガ初メノ方ニ列ベテアリマシテ、ソレカラ段々終ヒノ方ニ至ルニ隨ッテ藥劑ヲ合セテ製藥シタモノヲ順序ニ列ベマシタ、藥劑ニ付キマシテハ、大體現行ノ稅率ハ一割デアリマス、普通ノモノハ、又改正案モ大體其二割ノ稅率ヲ取ッテ居リマス、併ナガラ此中ニ「インヂアラツパー」「アラヒアゴム」「阿仙藥」「タンニン越幾斯」、或ハ沒食子云々ト云フヤウナ、色々ノ原料品デ、他ノ工業用ニ用井ラレル物ハ無稅、若クハ低稅ニシテアリマス、先ヅ大體藥品ニ付キマシテハ、現行ノ稅率ト餘リ變更ハゴザイマセヌ、ソコデ此類ノ中ニ衆議院ノ修正ニ係ル物ガ五六、アリマスガ、第一ニ百二十八ノ沈香、百三十九ノ白檀、是ハ原案ハ四割ト致シテ、ソレカラ稅率ヲ算出イタシマシタノデアリマスガ、之ヲ衆議院ニ於テハ三割見當テ稅ヲ減シテ修正ニナッテ居リマス、ソレカラ其次ニ醋酸、百五十四デアリマス、原案ニハ每百斤八圓ヲ修正イタシマシテ、百斤十一圓ト致シタノデアリマス、其次ガ百七十六號ノ「クロール酸加里」、是ハ原案ノ無稅デアリマスノヲ從價ノ五分ヨリ換算イタシマシテ、百斤一圓ト云フ修正ヲ致シタノデ、ソレカラ其次ノ二百五ノ龍腦艾片ノ原案ハ每百斤三十七圓二十錢ヲ二百五十圓ト修正シマシタ、此中ニ醋酸ノ稅ヲ上ゲマシタ理由ハ、詰リ今日醋酸ノ製造ガ内地ニ起ッテ居ル、事業ヲ經營シテ居ル、併ナガラ外國ノ廉價醋酸ノ爲ニ大ニ其壓迫ヲ受ケル、是ハ相當事業ノ見込ガアル、十分成立ッテ居ルモノデアルノニ、モウ少シ之ヲ保護スルト云フコトニスルノガ相當デアラウト云フ趣意デ修正シマシタ、此「クロール酸加里」ノ無稅ヲ五分課稅スルト云フコトニ致シタノハ、是ハ前キニ本議場ニ於キマシテ大藏大臣ヨリモ辯明ガアリマシタガ、政府ハ是ニハ絕對ニ反對ヲ致シテ居リマス、「クロール酸加里」ハ御承知ノ通り、主トシテ燐寸ノ製造ノ原料ニ使ヒマスル藥品デアリマス、此「クロール酸加里」ハ既ニ數年前ヨリ無稅ト致シテ、我邦ノ燐寸ノ輸出ニ便ラ與ヘテ居ッタモノデ、此製造ハ唯今内地ニアルカト申シマスルト云フト、私ドモノ承知シテ居ル所デハ、マダ内地ニ製造ハ無イノデアリマス、僅カノ數量ヲ試驗的ニ造ッタト云フコトハ承知シテ居リマスケレドモ、立派ニ製造業トシテ成立ッテ居ルモノデアルカト云フト、サウハ參リマセヌ、主トシテ外國ヨリ仰イテ居ル品デアリマス、デ、斯様ナ……固ヨリ此「クロール酸加里」ハ若干ノ藥品ト致シマシテ、他ノ用途ニモ使ヒマスルケレドモ、調査シタ所ニ依リマスルト、九分通りノモノハ、皆燐寸製造ノ原料ニ用井ルモノデアリマス、斯様ナ品物ハ他ノ各類ノ中ニモ往々アリマスルガ、無稅ト致シテ輸出ノ便ラ圖ルト云フコトガ必要デアラウト云フ趣意ヲ以テマシテ、政府ハ是ニハ絕對ニ反對ヲ唱ヘテ居リマス、ソレカラ龍腦艾片ノ稅ヲ上ゲマシタ、是亦前キニアリマシタ芳香性揮發油ノ用井方ト能ク似タモノデアリマス、色、ノ化粧品ニ句ヲ附ケルト云フ必要ガアリマシテ、又輸出ノ原料品トナルモノデアリマスル故ニ、稅ハ輕イガ宜カラウト云フ所デ、政府ハ輕イ稅ヲ以テ一割三十七圓ト致シタノデアリマスガ、衆議院ノ修正ハ龍腦製造ハ日本ニ澤山有ル所ノ樟腦ヲ以テ原料トシテ、製造業ノ十分出來

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 原油ハソレヲ直グニ軍艦デハ焚キマセヌ、原油ニ若干ノ加工ヲシマシテ、サウシテ焚クノニハ相當ニ製造シタ 其油デゴザイマス、ソレヲ用井マスカラ原油ハ軍艦デハ使ヒマセヌ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第六類ニ付キマシテハ各種ノ藥劑ガ初メノ方ニ列ベテアリマシテ、ソレカラ段々終ヒノ方ニ至ルニ隨ッテ藥劑ヲ合セテ製藥シタモノヲ順序ニ列ベマシタ、藥劑ニ付キマシテハ、大體現行ノ稅率ハ一割デアリマス、普通ノモノハ、又改正案モ大體其二割ノ稅率ヲ取ッテ居リマス、併ナガラ此中ニ「インヂアラツパー」「アラヒアゴム」「阿仙藥」「タンニン越幾斯」、或ハ沒食子云々ト云フヤウナ、色々ノ原料品デ、他ノ工業用ニ用井ラレル物ハ無稅、若クハ低稅ニシテアリマス、先ヅ大體藥品ニ付キマシテハ、現行ノ稅率ト餘リ變更ハゴザイマセヌ、ソコデ此類ノ中ニ衆議院ノ修正ニ係ル物ガ五六、アリマスガ、第一ニ百二十八ノ沈香、百三十九ノ白檀、是ハ原案ハ四割ト致シテ、ソレカラ稅率ヲ算出イタシマシタノデアリマスガ、之ヲ衆議院ニ於テハ三割見當テ稅ヲ減シテ修正ニナッテ居リマス、ソレカラ其次ニ醋酸、百五十四デアリマス、原案ニハ每百斤八圓ヲ修正イタシマシテ、百斤十一圓ト致シタノデアリマス、其次ガ百七十六號ノ「クロール酸加里」、是ハ原案ノ無稅デアリマスノヲ從價ノ五分ヨリ換算イタシマシテ、百斤一圓ト云フ修正ヲ致シタノデ、ソレカラ其次ノ二百五ノ龍腦艾片ノ原案ハ每百斤三十七圓二十錢ヲ二百五十圓ト修正シマシタ、此中ニ醋酸ノ稅ヲ上ゲマシタ理由ハ、詰リ今日醋酸ノ製造ガ内地ニ起ッテ居ル、事業ヲ經營シテ居ル、併ナガラ外國ノ廉價醋酸ノ爲ニ大ニ其壓迫ヲ受ケル、是ハ相當事業ノ見込ガアル、十分成立ッテ居ルモノデアルノニ、モウ少シ之ヲ保護スルト云フコトニスルノガ相當デアラウト云フ趣意デ修正シマシタ、此「クロール酸加里」ノ無稅ヲ五分課稅スルト云フコトニ致シタノハ、是ハ前キニ本議場ニ於キマシテ大藏大臣ヨリモ辯明ガアリマシタガ、政府ハ是ニハ絕對ニ反對ヲ致シテ居リマス、「クロール酸加里」ハ御承知ノ通り、主トシテ燐寸ノ製造ノ原料ニ使ヒマスル藥品デアリマス、此「クロール酸加里」ハ既ニ數年前ヨリ無稅ト致シテ、我邦ノ燐寸ノ輸出ニ便ラ與ヘテ居ッタモノデ、此製造ハ唯今内地ニアルカト申シマスルト云フト、私ドモノ承知シテ居ル所デハ、マダ内地ニ製造ハ無イノデアリマス、僅カノ數量ヲ試驗的ニ造ッタト云フコトハ承知シテ居リマスケレドモ、立派ニ製造業トシテ成立ッテ居ルモノデアルカト云フト、サウハ參リマセヌ、主トシテ外國ヨリ仰イテ居ル品デアリマス、デ、斯様ナ……固ヨリ此「クロール酸加里」ハ若干ノ藥品ト致シマシテ、他ノ用途ニモ使ヒマスルケレドモ、調査シタ所ニ依リマスルト、九分通りノモノハ、皆燐寸製造ノ原料ニ用井ルモノデアリマス、斯様ナ品物ハ他ノ各類ノ中ニモ往々アリマスルガ、無稅ト致シテ輸出ノ便ラ圖ルト云フコトガ必要デアラウト云フ趣意ヲ以テマシテ、政府ハ是ニハ絕對ニ反對ヲ唱ヘテ居リマス、ソレカラ龍腦艾片ノ稅ヲ上ゲマシタ、是亦前キニアリマシタ芳香性揮發油ノ用井方ト能ク似タモノデアリマス、色、ノ化粧品ニ句ヲ附ケルト云フ必要ガアリマシテ、又輸出ノ原料品トナルモノデアリマスル故ニ、稅ハ輕イガ宜カラウト云フ所デ、政府ハ輕イ稅ヲ以テ一割三十七圓ト致シタノデアリマスガ、衆議院ノ修正ハ龍腦製造ハ日本ニ澤山有ル所ノ樟腦ヲ以テ原料トシテ、製造業ノ十分出來

ル見込ノモノデアラカラ、是ハ相當ノ稅ヲ課ケテ保護スルガ宜シイ、稅ヲ少シ高クシタ所
 デ、内地デ出來ルモノデアラ、將來出來ル見込ガアル、又之ヲ化粧品ノ原料ニ使フト言フ
 ケレドモ、其分量ハ至ッテ少量ノモノデアラカラ、大シタル輸出ノ妨害ハナイト、斯ウ云フ大
 體意味ノ如ク聞イテ居リマシタ、是等ノ修正ノ中、政府ノ反對ヲ唱ヘマスノハ「クロール
 酸加里」三付イテ同意ノ出來ヌト云フコトハ、茲ニ重テ唯今申上ゲテ置キマス

○前田正名君 御尋シマスガ、此人造龍腦ガ十分立派ナ物ガ出來マスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 龍腦ノ製造ガ是マデアツチコッチテ居リマス、大阪、
 ソレカラ東京邊デモアリマス、是マデ私ドモ見マシタ所デハ、樟腦ノ原料ト致シテ造ル所
 ノ龍腦ハ一ト通りノ物ハ出來ル、併シ其龍腦ガマダ樟腦ノ匂ヒヲ有ッテ居ルカラ……詰リ
 樟腦分ヲマダ含シテ居リマシテ、之ヲ使用スルニ餘リ適當デハナイ、詰リ十分香料ノ有
 ル物ハ今日十分日本デハ供給ハ出來テ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 此中ニ知ラヌモノヲ御尋ネシタラ、實ニ幾ラモアリマシテ、御迷惑
 デアリマセウカ、艾片ト云フト……大概知ラヌモノデスカ、是ハ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 艾片ト云フノハ、矢張り龍腦ニ能ク似タモノデアリマ
 ス、艾片ハ支那ニ生育イタシマス所ノ一種ノ草デアリマス、艾ト云ヒマスカアレニ類似シタ
 植物、ソレヲ蒸溜シテ採リマシタノガ艾片デ、矢張り匂ヒト云ヒ性質ハ能ク龍腦ニ似テ居
 リマス、龍腦ハ御承知デアリマセウカ是ハ矢張り良イモノハ支那カラ是マデ這入ッテ居ッ
 ノデ、支那ノ一種ノ木デゴザイマス、木カラ自然ニ吹出ス所ノ松脂ノヤウナモノデ、ソレガ
 結晶シテ出來タモノデアリマス、品質性狀ニ於テ似タモノデアリマスカラ之ヲ一括シタノデ
 アリマス

○子爵曾我祐準君 艾片ト云フト阿片ノ片ノヤウナ鹽梅デ、艾カラ何カ液デモ採ルノ
 デゴザイマセウカ、又ハ此所ニ灸ニスエル艾ダト云フ説モアリマスケレドモ、サウデハゴザイマ
 スマイナ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 艾ト申シマス灸ニ致シマス草デ、アレニ似タ植物ヨリ
 蒸溜シマシテ得タモノデアリマス

○中島永元君 一二百ニ「サツカリ」ト云フモノガアリマス、是ハ大分ヤカマシイヤツ
 デ、日本醬油會社ノ騒ギヲシタノモ此「サツカリ」デアリマス、ソレカラ近頃往々漬物ヤ何
 カニ混ゼルト云フテ警察ニ押ヘラレマスガ、サウ云フ惡イモノナラバ此毎斤六十圓ト云
 フ稅率ヲ少シ上ゲテモ宜サウナモノト思ヒマスガドウ云フモノデアリマスカ、一體ドレク
 ラ井輸入シテ來ルモノデアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 「サツカリ」ハ今日ノ所デハ一斤六十圓デアリマスカラ
 餘ホド高イ稅ニ當リマス、是ハ御承知ノ通り非常ニ甘味ヲ有ッテ居ル藥品デアリマシテ、
 今日マデ大分輸入イタシマシテ、之ヲ高キ稅ニ致シマシタノハ之ガ砂糖ニ代用サレルト云
 フト砂糖ノ稅ニ大ナル影響ヲ持ツモノデアツデ、一斤六十圓ノ稅ト云フモノハ殆ド禁止
 的ノ意味ヲ有ッテ稅ト申シテモ宜カラウト思ヒマス、此六十圓ト算出イタシマシタノハ「サツ
 カリ」ハ砂糖ノ數百倍ノ甘味ヲ有ッテ居ルモノデアルト云フ趣意カラ割出シマシテ此高
 イ稅ガ出タノデアリマス、輸入ノ情況ヲ申シマス四十一年ハ七十七斤、其價額ハ百
 三十六圓、殆ド輸入ハ止ッテ居ルヤウナ情況デアリマス

○下條正雄君 「クロール酸加里」ト云フモノヲ日本デ產出スル高ト、ソレカラ日本デ
 消費スル高ト御調ベニナッテ居ルナラ、チヨット伺ッテ置キタウゴザイマス

○政府委員(大久保利武君) 「クロール酸加里」ハ御承知ノ如ク海草ヨリ採リマス、「ヨ
 ード」カラシテ再製シマシテ電氣化學ノ應用ニ依ッテ再製シテ出來マス化學品デアリマス、
 尤モ他ニモ方法ガアルサウデアリマスガ、普通唯今ハサウ云フ法ガ行ハレテ居ルサウデゴザイ
 マス、是ハ餘ホド製造ガ困難デアリマシテマダ我國デハ產出ハアリマセヌ、尤モ此事業ノ
 計畫ハ既ニヤッテ居リマシテ會社ハ成立シテ居リマスガ、マダ器械ノ買入ニ是カラ外國ニ
 行ッテ、ヤラウト云フコトニナッテ居リマシテマダ產出ハアリマセヌ、從來屢ニ試ミタコトモア
 リマスケレドモ皆失敗シテ居ル、此「クロール酸加里」ハ外國ニ「トラス」ガ出來テ居リマ
 シテ、一手販賣デ世界ノ市場ニ販賣シテ居リマスカラ、極ク價格モ廉ク、且ツ市場ヲ左
 右スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、ナカノ、此事業ハ困難デアラウト、ソレト「トラス」
 ガアル爲ニ、マダ我が國デハ生產ハ出來マセヌ、併シ試驗的ニ農商務省モ此事業ハ特ニ
 重要物產ノ原料ニナルモノデゴザイマスカラ、特ニ世話ヲシテ試驗的ニ試ミテ、出來ルコト
 ハ出來得ルト確マリマシタガ、是ハ經濟上果シテ出來ルモノカト云フコトハ考ガ付キマセ
 ヌ、會社ハ成立シテ折角ヤリ掛ケテ居ル情況デアリマス、ソレカラ第二ノ御問ノ我國ニ
 ノクラ井這入ッテ來ルカト云フコトハ、約毎年百万圓内外ノ額ヲ輸入シテ居ル此「クロ
 ール酸加里」ハ殆ド全部ト申シテ宜シイ、殆ド五分ハカリ他ニ使用サレマスガ、其他ハ燐寸
 ノ原料ニナルモノデアリマス

○下條正雄君 是ハ無稅ニナッテ居ルノヲ衆議院ニ於テ稅ヲ課スルヤウニ修正ニナッテ
 居リマスガ、ソレニ付イテ日本化學工業株式會社ト云フモノカラ趣意書ヲ回シテ下ゲテ
 吳レト云フコトヲ申シテ來テ居リマスデ、本員ハ一向斯ウ云フコトニハ暗イ者デ、尙ホ心
 得ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

本邦内ニ於テ多量ニ且ツ純良ニ製出シ得ル事ニ相成候ニ付キ我產業ノ發達保護
 獎勵上幸ニ今回ノ改正ニ際シ特ニ新ニ相當ノ輸入稅ヲ賦課スベキモノト愚考仕候
 斯ウ云フコトヲ出シテ來テ居リマシタガ、サウシマス是ハ全ク跡形ノ無イコトデアリマス
 カ、日本デ未ダ出來ヌト云フ御話ニ付イテ見ルト、多量ニ且ツ純良ノ品ヲ製出シ得ルコ
 トニナツタト云フ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ルノハ、是ハ全ク……

○政府委員(大久保利武君) 衆議院ニ於テ之ヲ五分課ケマシタ理由ハ先刻申上ゲ
 マシテ重要物產ノ燐寸ノ原料ニナリ將來餘ホド必要ナ原料デカラ、成ルベク内地ニ於
 テ是等ノ原料ヲ生產シ得ルヤウニ保護シタ方ガ宜カラウト云フコトデ五分課ケマシタノ
 デ、又唯今御話ノ化學工業會社モ既ニ會社ハ成立シテ居リマスガ、未ダ生產ハ全ク無
 イト云ッテ宜シウゴザイマス、併シ此原料ハ先刻申上ゲタ通り海草ヨリ製シマス「ヨード」
 カラシテ段々化學上ノ應用デ此原料ヲ拵ヘルノデアリマスカラシテ、一番元ニナル原料ハ
 我が國ニハ豊富デアラノデ、若シ此事業ガ整理シテ經濟上果シテ引合ワダケニ生產ガ出來
 マスレバ最モ好マシイ所デアリマスケレドモ、未ダ生產ハ全クアリマセヌノデ、是カラ著手シ
 ヤウト云フ情況ニナッテ居リマス、マダ出來ルカ出來ヌカ、經濟上果シテ是レガ出來ルカ
 出來ヌカ分ラヌト云フトキニ、大切ナル燐寸ノ原料ノ價ヲ上ゲルヤウナ増率ヲスルト云フ
 ヤウナコトハ早計ニ失スル、果シテ此事業ガ成立ツト云フ見込ガ付イタ曉ニハ、又相當ノ

考慮ヲ運ラス時モアラウト思ヒマスルケレドモ、未ダ生産モ無シ經濟上果シテ行クト云フ見込モ確實ニ付イテ居リマセヌ、テ政府ハ此増稅ニ對シテハ絶對的反對ヲ致シテ理由デアアルノデス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵田健治郎君 此百五十四ノ「醋酸」デゴザイマスルガ、是ハ一昨年ノ議會カテ、矢張り内地ノ製造保護ノ爲ニ確カニ輸入稅ヲ高メラレタト思ッテ居リマス、其法律が通過シタト思ッテ居リマス、所ガ今度衆議院テ尙ホツレハ高メヤウト云フ修正ノヤウデゴザイマスガ、一昨年輸入稅が高メラレタ以來今日ニ至ッテドウ云フ事實デアリマセウカ、是ガ爲ニ輸入ガ減シテ生産高ガ殖エタト云フ事實ガアルノデゴザイマセウカ、尙又之ヲ上ダテクテハ一昨年ノ保護ノ意味合ノ目的ヲ達セナイト云フ事實デアリマセウカ、御分リニナツタラチヨット承リタイト思ヒマス

○政府委員 櫻井鐵太郎君 醋酸ノコトハ唯今御問ノ通り一昨年、醋酸ヲ製造シマス原料、醋酸石灰ト共ニ改正ニナッタデアリマス、一昨年ノ時ニ於キマシテハ醋酸石灰ガ從價ノ二割課セラレテ居ル、醋酸ガ又從價ノ二割ト云フデアリマシテ、ツレガ爲ニ醋酸ヲ製造スル者ハ内地ノ醋酸石灰ノ製造ガ少ナイ爲ニ外國カラ原料ヲ得ナケレバナラヌノニ、原料ト醋酸ノ稅ガ同シヤウデアアルカラ誠ニ困難デアルト云フコトテ、至極尤モダト云フコトテ政府モ同意ヲ致シテ現行ノ如ク醋酸石灰ハ稅ヲ減シマシテ五分、醋酸ニハ八圓ト云フ稅率ニ改正シタノデゴザイマス、此時ニハ十分醋酸製造業ハ此位ノ割ニナツテ居レバ成立テ得ルト云フ見込ヲ付ケテ致シタデアリマシテ、政府モ別ニ是ハ今回改正スルト云フ考ハ無カッタデアリマス、衆議院ノ修正ヲシマシテ趣意ハ近年ノ外國ノ醋酸ノ輸入ノ情況ヲ見マス、段々外國カラ參ル醋酸ノ直ガ廉クナツテ、茲ニ前年ノ醋酸ノ輸入數量ト平均價格ヲ見マス、二十九年頃ニ於キマシテハ百斤ノ價ガ二十五圓バカリ、ツレガ四十年ニハ二十四圓ホドニナリ、四十一年ニハ二十三圓、四十二年ニハ二十圓八十一錢ト斯ウ云フ風ニ段々外國ノ醋酸ガ廉ク這入ッテ參リマス、サウナツテ來ルトドウシテモ今日ノ八圓テハ外國ノ醋酸ニ壓倒サレル、故ニ是ハサウムツカシイ工業デナクシテ、日本ニヤリ宜イ仕事デアアルモノデカラ、サウ云フ點ヲ見テ少シク外國ノ醋酸ノ稅ヲ増ス方ガ相當デアラウ、斯ウ云フ趣意カラ修正ニナッタコトト承知シテ居リマス

○男爵田健治郎君 生産高ハ……
○政府委員 櫻井鐵太郎君 生産高デゴザイマスカ、外國ノ輸入高ヲ申上ゲマス、外國ノ輸入高ガ四十二年ニ七十六萬五千斤、輸入ノ價格ガ十六萬圓、サウシテ内地ノ生産價格ガ四十二年ニ一萬六千圓ゴザイマス
○下條正雄君 モウ一ツ伺ヒタイノハ此二百五ト云フノ「龍腦」及「艾片」及「人造龍腦」是ハ先刻前田君カラ質問モアリマシタガ、内國テ消費スル高、即チ輸入シタ金額ハ分ツテ居リマスカ、分ツテ居ルナラ伺ヒタイ

○政府委員 大久保利武君 龍腦ノ輸入シタ額ハ前年ニ九萬圓デゴザイマス
○委員長 侯爵黒田長成君 マダ御質問ガゴザイマスカ、……ゴザイマセネバ次ニ移リマス、第七類

○政府委員 櫻井鐵太郎君 第七類ハ各種ノ染料、顔料等デゴザイマス、此類別ノ中ニアリマスル所ノ各種ノ原料ハ御承知ノ通り何レモ皆工業ノ原料トナルデアリマス、

其趣意カラ以チマシテ稅率ハ低ク定メデアリマス、内地ニ到底産出シマセヌ所ノ原料品ノ如キハ無稅ト致シ、其他ハ一割乃至一割五分ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ又現行ノ稅率ト餘リ變更ハ加ヘテアリマセヌ、唯二百六十以下ニ至リマスト云フト、是等ハ最早全製品ト申シテ宜シモノデアリマスルカラ、是ハ割合ニ稅ヲ高メテ、一割ヨリ三割マデ進メデアリマス、此類ノ中衆議院ノ修正ハ第七類ノ初メニアル「天然藍」、「人造藍」ト云レカラ「アリザリン染料」等ニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、政府ノ原案ニハ「天然藍」、「人造藍」並ニ「アリザリン染料」等各一割ヨリ底イ所ノ從量稅ヲ以テ致シタデアリマス、衆議院ノ之ニ對シマス修正ノ趣意ハ内地ノ天然藍ト相當ニ見テ行カネバナラス、斯ウ云フ趣意修正ヲ加ヘタモノト存ジマス、是ニハ先キニモ政府ハ反對ノ意見ヲ表明シテ居ルノデアリマス、詰リ天然藍ハ御承知ノ通り德島縣其他各府縣テ作リマス、内地ノ産額ハ約三百萬斤セラ井出來テ居リマス、其價額ガ約二三十萬圓、輸入ノ方ハ天然ノ藍ガ十八萬斤、此價額ガ四十萬圓餘リデアリマス、人造藍ハ輸入ガ二百三十萬斤、其價額ハ約五百萬圓、輸入ノ天然藍ト人造藍ト合計シマス、輸入ガ二百四十萬斤、價額ガ五百二十萬圓セラ井ニナリマス、内地テ出來マス所ノ藍ハ百分中二百分ノ七……平均シマスト百分ノ七ノ藍素ト申シマス純分デアリマスガ、藍ノ純分ヲ含シテ居リマス、輸入ノ天然藍ハ凡ソ百分ノ六十五デアリマス、人造藍ハ殆ド百分ノ九十五含シテ居リマスカラ、藍ノ中ニ含シテ居ル純分カラ計算シテ見マスト云フト、内地テ出來マストコロノ藍ハ藍ノ消費額ノ百分ノ八ダケヲ供給シテ居リマス、百分ノ九十ダケハ外國カラ輸入シテ居ルト云フ實況デアリマス、此藍ノ稅率ノ沿革ヲ御參考ニ申上ゲマスト云フト、天然藍ハ二十二年ノ條約改正ノ時ニ英吉利ト協定ニ依リマシテ百斤十二圓九十五錢三厘トナツテ居リマス、ツレカラ此稅ガ數年行ハレテ居リマス、中二十五年頃ト思ヒマスガ、人造藍ナルモノガ獨逸カラ這入ッテ參リマシタ、人造藍ハ是亦藍ニ相違ナイデアリマスカラ、天然藍ノ即チ英吉利ト協定ニ均霑イタシマシテ矢張り人造藍モ百斤十二圓九十五錢三厘ヲ這入ッテ參ルコトニナリマシタ、斯様ナ關係テ數年參ッテ今日マデノ情況ヲ見マスト云フト、天然藍ノ輸入ハズツテ減ッテ仕舞ヒマシタ、其反對ニ人造藍ノ輸入ガ今日ハ大ニ殖エテ參ッタデアリマス、天然藍ノ輸入ノ情況ヲ申上ゲマスト云フト、二十二年頃ニハ金額テ申シテ二百萬圓バカリ這入ッテ居リマス、ツレガ四十一年ニナリマスト云フト十八萬圓ニ減少シマシタ、四十二年ハ少シク殖エテ居リマス、二十五萬圓バカリニナツテ居リマス、ツレカラ人造藍ノ方ノ情況ヲ申上ゲマスト云フト、是ハ二十五年頃カラ始マツタデアリマスガ、二十五年ニハ六十八萬圓ノ輸入額ガ四十二年ニ至ッテ四百二十九萬圓バカリ這入ルコトニナリマシタ、斯様ニ天然藍ガ減少シテ人造藍ガ増シテ參ッタト云フ情況デアリマス、是ハ獨リ日本ノ實況ノミデナイヤウニ見エマス、テ斯様ナ情況テ染織業ノ大切ナル元素デアリマシテ多數ノモノヲ外國ニ仰イテ居ル、此藍ノ如キモノニ向ッテハ稅率ヲ徒ラニ高クスルト云フコトハ決シテ宜シイコトデアアルマイト云フ考ヲ有チマシテ一割ト云フ稅率ヲ定メタデアリマス、一割ト致シタ所ガ現今行ハレテ居リマスル稅二百斤ニ付イテ十二圓九十五錢三厘、同シ一割テモ人造藍ニ付イテハ二十二圓ニ増スデアリマス、現行ノ一割ヲ變更セズニ置キマシタ所テ十圓バカリ今日ヨリ増スコトニナルデアリマシテ、之ガ爲ニ内地ノ藍ノ生産ガ直チニ打撃ヲ受ケテ廢滅シテ仕舞

其趣意カラ以チマシテ稅率ハ低ク定メデアリマス、内地ニ到底産出シマセヌ所ノ原料品ノ如キハ無稅ト致シ、其他ハ一割乃至一割五分ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ又現行ノ稅率ト餘リ變更ハ加ヘテアリマセヌ、唯二百六十以下ニ至リマスト云フト、是等ハ最早全製品ト申シテ宜シモノデアリマスルカラ、是ハ割合ニ稅ヲ高メテ、一割ヨリ三割マデ進メデアリマス、此類ノ中衆議院ノ修正ハ第七類ノ初メニアル「天然藍」、「人造藍」ト云レカラ「アリザリン染料」等ニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、政府ノ原案ニハ「天然藍」、「人造藍」並ニ「アリザリン染料」等各一割ヨリ底イ所ノ從量稅ヲ以テ致シタデアリマス、衆議院ノ之ニ對シマス修正ノ趣意ハ内地ノ天然藍ト相當ニ見テ行カネバナラス、斯ウ云フ趣意修正ヲ加ヘタモノト存ジマス、是ニハ先キニモ政府ハ反對ノ意見ヲ表明シテ居ルノデアリマス、詰リ天然藍ハ御承知ノ通り德島縣其他各府縣テ作リマス、内地ノ産額ハ約三百萬斤セラ井出來テ居リマス、其價額ガ約二三十萬圓、輸入ノ方ハ天然ノ藍ガ十八萬斤、此價額ガ四十萬圓餘リデアリマス、人造藍ハ輸入ガ二百三十萬斤、其價額ハ約五百萬圓、輸入ノ天然藍ト人造藍ト合計シマス、輸入ガ二百四十萬斤、價額ガ五百二十萬圓セラ井ニナリマス、内地テ出來マス所ノ藍ハ百分中二百分ノ七……平均シマスト百分ノ七ノ藍素ト申シマス純分デアリマスガ、藍ノ純分ヲ含シテ居リマス、輸入ノ天然藍ハ凡ソ百分ノ六十五デアリマス、人造藍ハ殆ド百分ノ九十五含シテ居リマスカラ、藍ノ中ニ含シテ居ル純分カラ計算シテ見マスト云フト、内地テ出來マストコロノ藍ハ藍ノ消費額ノ百分ノ八ダケヲ供給シテ居リマス、百分ノ九十ダケハ外國カラ輸入シテ居ルト云フ實況デアリマス、此藍ノ稅率ノ沿革ヲ御參考ニ申上ゲマスト云フト、天然藍ハ二十二年ノ條約改正ノ時ニ英吉利ト協定ニ依リマシテ百斤十二圓九十五錢三厘トナツテ居リマス、ツレカラ此稅ガ數年行ハレテ居リマス、中二十五年頃ト思ヒマスガ、人造藍ナルモノガ獨逸カラ這入ッテ參リマシタ、人造藍ハ是亦藍ニ相違ナイデアリマスカラ、天然藍ノ即チ英吉利ト協定ニ均霑イタシマシテ矢張り人造藍モ百斤十二圓九十五錢三厘ヲ這入ッテ參ルコトニナリマシタ、斯様ナ關係テ數年參ッテ今日マデノ情況ヲ見マスト云フト、天然藍ノ輸入ハズツテ減ッテ仕舞ヒマシタ、其反對ニ人造藍ノ輸入ガ今日ハ大ニ殖エテ參ッタデアリマス、天然藍ノ輸入ノ情況ヲ申上ゲマスト云フト、二十二年頃ニハ金額テ申シテ二百萬圓バカリ這入ッテ居リマス、ツレガ四十一年ニナリマスト云フト十八萬圓ニ減少シマシタ、四十二年ハ少シク殖エテ居リマス、二十五萬圓バカリニナツテ居リマス、ツレカラ人造藍ノ方ノ情況ヲ申上ゲマスト云フト、是ハ二十五年頃カラ始マツタデアリマスガ、二十五年ニハ六十八萬圓ノ輸入額ガ四十二年ニ至ッテ四百二十九萬圓バカリ這入ルコトニナリマシタ、斯様ニ天然藍ガ減少シテ人造藍ガ増シテ參ッタト云フ情況デアリマス、是ハ獨リ日本ノ實況ノミデナイヤウニ見エマス、テ斯様ナ情況テ染織業ノ大切ナル元素デアリマシテ多數ノモノヲ外國ニ仰イテ居ル、此藍ノ如キモノニ向ッテハ稅率ヲ徒ラニ高クスルト云フコトハ決シテ宜シイコトデアアルマイト云フ考ヲ有チマシテ一割ト云フ稅率ヲ定メタデアリマス、一割ト致シタ所ガ現今行ハレテ居リマスル稅二百斤ニ付イテ十二圓九十五錢三厘、同シ一割テモ人造藍ニ付イテハ二十二圓ニ増スデアリマス、現行ノ一割ヲ變更セズニ置キマシタ所テ十圓バカリ今日ヨリ増スコトニナルデアリマシテ、之ガ爲ニ内地ノ藍ノ生産ガ直チニ打撃ヲ受ケテ廢滅シテ仕舞

フト云フモノハ無カラウト思ヒマス、内地ノ天然藍ト人造藍トノ關係ハ同ジク藍色ヲ出
 スモノデアリマスガ、天然藍ノ色ハ一種ノ特色ヲ持ッテ居リマシテ、物ニ依ッテハドウシテモ
 此藍ノ色デナケレバナラヌト云フ習慣モアリマシテ、天然藍ノ需要ト云フモノハ決シテ急
 劇ニ止ムモノデハ無カラウト思ヒマス、且ツ今日藍ノ耕作ノ情況ハ天然藍ノ爲ニ大ニ影
 響ヲ受ケテ居ルニハ相違ナイノデアリマスガ、藍作ガ全ク非常ナ不利ナモノトモ見エマセ
 ヌ、他ノ農作ニ比シテ非常ニ利益ノ薄イモノトモ見エヌ次第デアリマスカラ稅率ヲ斯ノ
 如ク定メテモ日本ノ藍作ガ直チニ廢滅スルト云フ虞ハナカラウト考ヘテ居リマス、ウレカラ
 「アニンリン」、「アリザリン」ニ向ッテ稅ヲ増シテ居リマスガ、是亦同意ヲ表シマセヌ、「アニン
 染料」、「アリザリン染料」ト云フモノハ衆議院ノ修正ニ於キマシテハ人造藍ヲ増ス以上ハ
 鈞合ヲ取ッテ増サネバナラヌト云フ趣意カラ參ッタデアリマスガ、此中ニハ成ルホド藍染
 バカリガ遺入ッテ居ルノデアリマセヌ、藍色ヲ出シマス外色ノ各種ノ色ヲ出ストコロノ染料
 ガ此二百四十二號ノ中ニ遺入ッテ居ルノデアリマスカラ、是ノ稅ヲ上ケマス、藍色以
 外ノ染料ノ稅ヲ上ゲルト云フ結果ニナリマスノデ、是ハ甚ダ面白クナイ結果ヲ生ズルコトデ
 アラウ、云フ趣意ヲ以チマシテ政府ハ修正ニ同意ヲ表シマセヌデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 第七類ノ染料ノコトデゴザイマスガ、即チ藍ノコトデゴザイマ
 スガ、今モ政府委員カラ伺ッテダテスガ、天然藍ト人造藍トハ其用法ニ付キマシテ餘ホド區
 別ノアルヤウニモ考ヘラレマスガ、故ニ互ノ藍ヲ兩立シテ參ルヤウナ譯ニハ參ラヌデアリマ
 スカ、其邊ハ農商務省ナドノ御意見ハドウナッテ居リマスカ念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○政府委員(大久保利武君) 天然藍ト人造藍トノ使用ノ方法ニ付キマシテハ委シイコ
 トハ承知イタシマセヌガ、先刻モ他ノ政府委員カラ申上ケタ如ク藍素ノ含有シテ居リマス
 量ガ天然藍、人造藍皆悉ク違ヒマスノテ餘ホド此使用ノ上ニ付イテ違フコトガアルサウデ
 ゴザリマス、例ヘバ人造藍ノ方ハ餘ホド藍素ガ多イサウデ、一度染メレバソレデ藍色ニ染マ
 ルノガ、天然藍デアルト少ナイカラ度々丁寧ニ染メナイト云フト本當ノ色ガ出ナイ、又匂ヒ
 ガ違フトカ、却ッテ天然藍ハ丁寧ニ幾度モ染直シ染直シテ仕上ゲルニ依ッテ保チガ宜イ
 トカ、光澤ガドウダト云フヤウナコトモ使用ノ上ニ付イテ、餘ホド織物ノ上ニ付イテ違ヒ
 ガアルサウデゴザイマス、テ營業者ノ中ニハ之ヲ織物ニ依ッテハ混ゼテ使フ所モアルシ、又物
 ニ依ッテハ天然藍デナクテハナラヌヤウニ習慣ガナッテ居ルモノモアルト云フ差ハアルサウデア
 リマシテ、各ノ其特色ハ有ッテ居ルノデ、天然藍ガ人造藍ノ爲ニ全ク壓迫サレテ仕舞フト
 云フコトハナカラウト云フ考モ有ッテ居リマス、併シ價ノ上ニ付イテ藍素ノ分量モ違フモノ
 デアリマスカラ差ガアルノデス、人造藍ノ如キハ殆ド半價ヲ出來ル、同シ染ガ出來ルト云フ
 ヤウナ關係ガアルモノデアリマスカラシテ、大勢ノ上デハ、即チ使用ノ上ニ付イテ習慣モ出
 來、染メノ上ニ付イテ熟練スルト云フコトアレバ同ジ染メモ出來ルノデアリマスガ、習慣
 ガ違フトカ、又技術ニ熟サナイト云フヤウナコト、又價ガ非常ニ違フト云フヤウナコトデ、
 天然藍ハ人造藍ニ向フトコトハナカク、ムジカシト云フヤウナコトハ、大體ニ於テハ言ヘル
 タラウト思ヒマス、併シ唯今申上ケタ如ク藍素ガ違ヒ又習慣ガ違ヒマスカラ、全ク天然藍
 ガ壓迫サレルト云フコトハナカラウカト考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ次ニ移リマス、第八類及第九類
 ○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第八類ハ絲類デアリマス、此中ニハ協定ノ關係ノアリ

マスルモノガ大分アリマス、其中重モナルモノハ綿織絲ナドデアリマス、今度ノ改正案ヲ立
 テマスニ付イテハ、現行ノ國定ニ比ベマスト云フト綿織類ノ如キハ稅ヲ餘ホド減シマシタ、
 二百七十二ノ綿織絲、是ハ現行ノ國定ニ於テハ二割トナッテ居リマスノコト今同ノ改正ニ
 於テハ一割ニ減シマシタ、是ハ御承知ノ通り最早日本ノ紡績ハ大ニ發達イタシマシテ現
 行協定ノ八分、八分ノ協定ガアルニ拘ラズ内地ノ事業ガ盛ニ起ッテ參リマシテ、太絲ノ
 如キハ之ヲ外國ニ輸出スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、サウ云フ情況ヲ考ヘマシテ
 一割位デ相當デアラウト云フコトデ大體一割ヲ基礎ニシテ從量稅ヲ算出イタシマシタ、
 併シ現行ノ稅率ニハ木綿織絲ノ區分ガ甚ダ粗デアリマシテ、分チ方ガ廣クアリマス、故
 ニ今度ハソレヲ改メマシテ細イ絲、太イ絲ノ區別ヲ致シ、又染メタモノ、染メナイモノ、晒
 タモノ、晒サナイモノト云フ風ニ區分ヲ致シマシテ、サウシテ同ジ一割ノ直段ガ相當スルヤ
 ウニ每百斤ノ從量稅ヲ定メタデアリマス、重モナルモノハ木綿ノ絲ト、ソレカラ毛絲デア
 リマス、二百八十三ノ毛織絲デアリマス、是モ大體區分ヲ致シマシテ、染メタモノ、染メヌ
 モノ、絲ノ太イ細イト云フノ依ッテ稅率ヲ區分イタシマシタ、先ヅ重モナル點ハソコラデア
 リマス、此八類ノ中、衆議院ノ修正ガアリマスルガ、二百七十五ノ亞麻織絲、亞麻織
 絲ノ百斤當リノ價格ヲ修正シテアリマス、是ハ原案ハ四十二年ノ平均價格ヲ取リマ
 シテ、サウシテ原案ノ從量稅ヲ出シタデアリマスルガ、修正案ハ七箇年ノ平均價格ヲ取
 デアリマス、其七箇年ノ中ニハ戰爭中ニ屬スル所ノ高イ平均價格ガ含マレテ居リマスケ
 ドモ、七箇年ト云フ永イ年限ヲ押ヘテ平均ヲ取リマシレバ、ソレ等ノ點ハ大ニ緩和サレマ
 スカラ、此點ニ付イテハ政府ハ別ニ原案ヲ主張イタシマセヌデアリマス、其次ノ修正ハ
 二百七十七ノ苧麻織絲及「ラミー織絲」デアリマスガ、是ハ政府ノ案ニハ從價價出シテ
 置キマシタノヲ從量ニスルガ便利デアルト云フ趣意デアリマシテ、是ハ別ニ申上ゲル程ノコ
 トモアリマセヌ、ソレカラ二百七十八、是ハ唯二百七十七ヲ修正シマシタ結果トシテ文字
 ノ修正ニ過ギマセヌ、ソレカラ其次ノ修正ハ二百八十七ノ生絲ノ中ノ一ノ野蠶絲、謂ハ
 ニル柞蠶絲デアリマス、是ハ原案ニハ二十一圓ト云フ從量稅ニ致シマシタノヲ、衆議院ニ
 於テハ無稅トスルト云フ案デゴザイマス、此無稅トスル衆議院ノ修正ノ理由ハ野蠶絲ナ
 ルモノ、野蠶繭ハ内地ニ於テハ殆ド僅カシカ製造出來ナイモノデアル、ソレカラ又野蠶絲
 ノ製絲ト云フコトモ屢々企テタ者ガアルケレドモ皆失敗シテ成功シナイ、即チ野蠶絲ノ製
 造ハ餘ホド困難デアル、今後モ容易ニ出來マイ、ソコデ此野蠶絲ハ重ニ色ノ織物ニ使
 ハレテ其織物ノ或ルモノハ支那地方ニマテ輸出スル、又是マテ内地ノ外國カラ輸入シテ
 居ッタヤウナ品物ガ最早、柞蠶絲ヲ出來テ外國ノ輸入ヲ防遏スルコトガ出來ルヤウニ段々
 ナッテ來タ故ニ、此野蠶絲ノ如キモノハ稅ヲ課ケヌ方ガ宜イト云フ趣意カラ之ヲ無稅
 ト修正ヲ致シタコトニ承知ヲ致シマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ原案ヲ強テ主張イタシ
 マセヌ、第九類ノ「布帛及布帛製品類」、是ハ御承知ノ通り此中ニ包括サレマスモノハ
 餘ホド現今デハ外國トノ協定ニ係ルモノガアリマシテ、木綿ノ織物ヲ初メシテ各種ノ織
 物ガ外國トノ協定ガアリマス、此織物ハ先ヅ木綿織物ニ付イテ申上ケマスト前ノ八類ニ
 於キマシテ木綿ノ織絲ト云フモノヲ大體一割ト稅率ヲ決メマシレバ、ソレト鈞合ヲ取ッテ
 考ヘネバナラヌデアリマス、茲ニ大體、木綿ノ織物等ニ付イテハ、二割ト云フ標準ヲ決メ
 マシテ、サウシテ今回ハ其稅率ノ稅目ノ定メ方ヲ現行ト餘ホド變ヘマシタ、現行ニ於キマ

マシテ、サウシテ今回ハ其稅率ノ稅目ノ定メ方ヲ現行ト餘ホド變ヘマシタ、現行ニ於キマ

シテハ多クハ織物ノ品名ヲ分ケマシテ幾ラト云フ稅ヲ決メタノデアリマスガ、今回ハソレヲ止メマシテ御覽ノ通りニ絲ノ經緯ニ一定ノ寸法内ニアル數、目方、斯ウ云フモノカラ推シテ參リマシテ從量稅ヲ算出イテシタノデアリマス、詰リ織物ノ一定ノ寸法内ニアル經緯ノ絲ノ少ナイモノカラ、段々多イモノニ隨テ稅率ヲ高ク致シマシテ權衡ヲ取ツテ譯デアリマス、大體木綿織物ハ其通りニ定メマシテ、平織紋織ノ各種ノ織方ニ依ッテ區別ヲ致シマシタ、ソレカラ木綿以外ノ麻ノ織物、絹ノ織物等ニ付イテモ同ジク絲ノ數ト目方ニ依ッテ行フコトニ致シマシタ、毛織物モ大體同様ノ趣意、毛織物モ一定ノ寸法ト目方ヲ取リマシテサウシテ從量稅ヲ算出イテシマシタ、絹、毛、若クハ其他ノ色々ノ絲ノ交織物ト云フモノモ、大體趣意ハ唯今申シタ所ト變ラヌ趣意ニ依ッテ編製イテシマシタノデアリマス、織物ノ中デモ終ヒノ方ニ行キマスト云フト、最早反物ト云フヤウナモノデアリマセズ一ツノ物ガ出來テ居リマス、卓子掛トカ、窓掛トカ蚊帳デアルトカ云フモノニナリマス、是ハ最早單純ナル織物ト違ヒマスカラ、而シテサウ云フ物ハ直接消費ニ供セラレル物デアリマスルカラ最前申シマス趣意ニ依ッテ段々ト稅ヲ高メテ、贅澤品ノ如キニナリマス、又五割マデ課稅イテシデアリマス、金屬ヲ用井タトカ、絹ヲ用井タル物ニハ五割マデ課稅ヲ致シデアリマス、而シテ大體從量稅ハ唯今申シマシタヤウナ趣意ニ依ッテ致シマスガ、品物ニ依リマスト云フト、例ヘバ木綿織物ニ致シマシテモ「レース」ヲ使ッテ織ツタ、「レース」ヲ織込ミタル物ニナリマス、是ハ目方ヤ絲ノ數ヲ數ヘテヤル譯ニハ行キマセヌカラ是ハ從價稅ニ依ッテ課稅スルコトニ致シマシタ、ソレデ此布帛及布帛製品ノ中、衆議院ノ修正ガ三百三十七ニアリマス、即チ「ホース」及「機械用ベルチング」ハ原案ニ二割トアリマスモノヲ二割五分ト修正ヲ致シデアリマス、此修正ノ出マシタノハ主トシテ「ホース」ノ「方」其「他」ノ物デアリマス、二ノ方ノ即チ亞麻絲ヲ以テ造ル所ノ「ホース」ハ、是ハ北海道其他内地ニ於テ製造ガ段々出來テ參ル、狀況デアリマス故ニ、是等ニハ少シノ僅カノ保護ノ意味ヲ以テ增稅ヲシタ方ガ相當デアラウト、斯ウ云フコトデ二割ノ標準ノモノヲ二割五分ニ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレハ別ニ政府ニ於テハ強ヒテ反對ヲ唱ヘナイノデアリマス

○政府委員(大久保利武君) 先キホド人造藍ノ價ノコトニ付イテ誤ッテ申上ゲマシタカラ、價ノコトニ付イテ申上ゲタ分ヲ取消シマス

○男爵目賀田種太郎君 二百八十七ノ野蠶絲ニ關係イタシマシテ農商務省ノ方ノ御說明ヲ承リタイノデアリマスガ、韓國若クハ滿洲地方ニ於ケル野蠶絲ニ對スル此間ノ御見込ハ如何デアリマスカ、ソレカラ第二ニハ大局上ヨリ考ヘマスレバ若シ其生産ノ見込ガ確實ニゴザイマス際ニハ其稅率ハ餘ホド考ヘ物ノヤウニ思ヒマス、其邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(下岡忠治君) 野蠶絲ニ付イテハ御承知ノ通り内地デモ少シハ拵ヘマス、内地デ出來マス所ノ物ハ長野縣デアリマスガ、其他一二ノ縣デハ僅カ極ク少量デゴザイマシテ殆ド言フニ足ラヌモノデアリマスガ、韓國及滿洲方面カラ山東省方面ト云フモノガ野蠶絲ノ多ク出ル場デアリマスガ、韓國ハ唯今ノ所デハ大シタコトハゴザイマセヌ、併シ前途ハ有望デアルト云フ見込デゴザイマス、第一、一番現在野蠶絲ノ多ク出ル所ノ滿洲方面ハ非常ニ是カラ先キモ多ク出ルシ、現在ニ於キマシテモ隨分海外ニ輸出スル所ノ價ニ於テ現二百五十萬圓前後ト云フモノヲ現ニ輸出シテ居ル狀態デアリマス、其他獨逸ナリ或

ハ歐羅巴亞米利加ノ各方面ニモ大分輸出スルヤウニ聞キマスガ、是カラ先キモ進ミ進ムデヤリ得ル事情ニ見エテ居リマス、山東省方面ニ於テハ大分出マス、向フデ蠶ヲ造リマシテ製造スル、即チ生絲ヲ拵ヘルヤリ方ハドウ云フ風ニシテ居ルカト申シマス、重モニ芝罘ヘ持ッテ行キマシテ安東縣方面カラ芝罘ニ持ッテ行キマシテ、芝罘ナド製造シテ居ルノガ普通デアリマス、ソレハ日本ノ座繰ニ當ル所ノモノヲ安東縣ノ奧ノ方デヤッテ居ル狀態デゴザイマス、是ハ聞キマス滿洲ノ生産スル所ノ約五分ノ一グラハサウ云フモノデアツテ、アトハ重モニ芝罘ナリ其他ノ方面ニ送ッテ拵ヘテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、韓國ニ付キマシテハマダ委シイ調ベハシデアリマセヌケレドモ、義州方面ナリ各方面ニ於キマシテ非常ニ見込ガアルト云フコトニ、専門家ノ意見ガ一致シテ居ルコトデアリマシテ、將來ハアノ方面ニ於テ若シ柞蠶絲ヲ大ニ獎勵シテヤルコトデアレバ、日本ノ需要供給ハ勿論、他ノ方面ニ出ス見込ハ十分アルト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、唯今ノ所デハ餘リ出シテ居リマセヌ、サテソレデハ爾ヲ日本デ拵ヘルコトハ見込ガ無イカ、爾ヲ入レテ日本デ之ヲ製絲スルト云フ方策ヲ採ルガ宜イカ、或ハ矢張り爾ハ向フデ拵ヘルノミナラス、絲モ海外デ拵ヘタモノヲ内地ニ入レル方策ヲ採ルガ宜イカト云フコトハ是ハ關稅ニ影響ガアル問題デアリマスガ、從來内地ノ方ニ於キマシテモ大分試ミタ例モアリマス、例ヘバ東洋柞蠶會社モ又三井モ手ヲ著ケタ、又野澤組モ手ヲ著ケタ、各方面ニ於テ滿洲ノ原料ヲ内地ニ輸入シテ内地ニ於テ柞蠶絲ノ製造ト云フコトヲヤルコトヲ試ミマシタガ、既往ノ例デハ失敗シテ居ル、其失敗シマシタ原因ハ色々ゴザイマスガ、一ツハ特許權ノ争ヒデ、非常ニ悶著ガ起ツタコト、又原料ノ買付ケテ非常ニ下手ナリ方ヲシテ、滿洲ノ事情ニ暗イガ爲ニ原料ノ買入方ヲ損ツタト云フ原因モアリマス、各種ノ原因モアリマスガ、兎ニ角モ從來ハ失敗シテ居ル、是カラ先キハ内地ヘ原料ヲ入レテ到底見込ガ無イカト云フ點ニナリマス、西ケ原ノ試驗場デ調ベサセタリ、又専門家ノ意見等ヲ參酌シタ所ニ據ルト、望ミガ無イト云フコトデハナイヤウニ考ヘテ居リマス、唯今ノ所デハ實際ヤッテ居ルモノハ、ホンノ小サナ柞蠶絲ノ製造ト云フコトヲ去年アタリカラ、ヤット手ヲ著ケテ居ル、實業者トシテ現在ヤッテ居ル者ハソノ以外ニハアリマセヌガ、併シ専門家ノ攷究シテ居ル所ニ據ラレバ、強チ内地デ之ヲ拵ヘルコトハ出來ナイコトハ認メテ居ラス、各種ノ計算モシテ居リマスガ、兎ニ角現在ヤッテ居ラスモノデスカラ、其計數ガ非常ニ正確ナル調ベト云フコトハ申サレマセヌケレドモ、相當ナル關稅ガアルト云フコトニナレバ、先ヅ内地デヤッテ見込ハアルト云フコトハ推定シテ誤ラナイ考ヘデアリマス、尤モ其絲ノ種類ガ大柞ノ絲ト小柞ノ絲トガアツテ、大柞ノ絲ト云フモノハ非常ニ粗惡デアツテ、即チ是ガ坐繰ニ當ラズ居ル、是ハ大變ニ内地ニ這入ッテ價格ガ廉イモノデ、是ハ競争ノ方カラ言ッテ見マスト、大シテ是等ハ利益デアルト云フコトハ申シクイケレドモ、矢張り小柞ノ絲ト云フモノモ機械絲ニ當ルヤウナモノデ、少シク長ク出來タ方ノ絲ニ付キマシテハ、確ニ内地デヤッテナラバ競争シテ十分行ケル見込ガ付イテ居リマス、現在日本デ使ッテ居ル絲ノ六割ハ大柞絲デアゴザイマシテ、四割ガ小柞絲デアリマスガ、大柞絲ト雖モモチラニ持ッテ來テ直チニ織物ニ使フ譯ニハイキマセヌ、アトデ一遍繰返シマス、ソレハ非常ニ粗雜ナモノデアリマスカラ、ソレガ爲ニ屑山出來マスカラ、大柞絲ソレ自ラハ廉イモノト云フテモ、織物屋ガ之ヲ使フト云フ上カラハ割合ニ高ク付クト云フコトハ聞イテ居リマス、大體サウ云フ有様デアゴザイマスカラ、内地ニ於テ原料

ヲ拵ヘルト云フコトハ出來ナイガ、其原料ヲ輸入シテ内地ニ柞蠶業ヲ興スト云フコトハ前途ニ於テハ見込ガアル、但シ今日ニ於テハ失敗ヲシタ後ニマダ確實ナル基礎ノ上ニ事業ヲ興シテ居ル者ハ無イ、斯ウニ云フ状態デアリマス

○下郷傳平君 私モ此柞蠶絲ニ付イテ伺ヒマスガ、唯今ノ御説ニ依リマス、繭ヲ内地ニ輸入シマシテ此柞蠶絲ヲ製造スルト云フコトハ見込ノ無イコトハナイト云フ御話デアリマスガ、多少此柞蠶絲ノ製造ヲシテ居リマシタ方ニ就イテ私ハ開イタコトガアリマシタガ、成ルホド唯今マデノ結果デハ殆ド失敗デアリマシタガ、其失敗ノ原因ハ重モニ特許權ノ争、繭ノ仕入レノ亂雜、斯ウ云フコトカラシテ餘リ好イ結果ヲ見テ居ラヌデアリマスガ、ドウシテモ將來ハ段々内地デモ製造ノ出來ル仕事ト私ハ略聞イテ居リマスガ、現ニ繭ノ輸入ノアルコトデアリマセウガ、若シ輸入ガアリトスレバ其柞蠶繭ハ矢張り此二百八十五ノ繭ノ中ニ這入リマシテ無稅デアラウカト思ヒマス、サウシマスルト、衆議院ノ修正説ノ通りニナリマス、原料ノ繭モ無稅デアル、又拵ヘ上ゲタ絲モ無稅ト云フコトニナリマスガ、其邊ハ衆議院ノ方デハドウ云フ考デアリマシタカ、承リタウ存ジマス、ソレカラ今一ツハ此柞蠶絲ハ品質カラ申シマスレバ、ソレホド良イ絲デアリマセヌノデ、詰リ内地ノ絲ノ二等繭トカ、若クハ玉繭ノ如キモノカラ製造シマシタ絲ト能ク似タモノカト存ジマス、アレハ全ク使途ガ違フカモ知レマセヌガ、ソレ等ノ絲ノ使ヒ途ニ付イテノ關係ハドウ云フモノニナリマセウカ、内地ノ織物ノ絲ニ影響スルコトハアリマセヌカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 衆議院デ此野蠶絲ノ無稅ニナリマシタ理由トシテ聞イテ居リマスノハ、今日マデノ所デ野蠶絲ヲ製造シテ見タ所デ失敗シテ居ル、是カラ先キ果シテ内地デ出來ルカモ知レヌケレドモ、ドウモ現在ヤツテ居ラヌ所ヲ見レバ何トモ言ヘナイ、然ルニ野蠶絲ノ需要ト云フモノハ織物界ニ付イテハ非常ニ澤山ノ需要ガアルシ、殊ニ一部ハ織物ヲ拵ヘテ海外ニ輸出スル状態ニナツテ居ル位デアルカラ、此野蠶絲ヲ使フ所ノ織物ノ上カラ考ヘテ見テ、之ニ稅ヲ課ケテ行クコトハドウモ蠶業ノ發達ノ上カラハ困ラデアラウ、現在ニ於テモ野蠶絲ノ製造ト云フコトガ日本ニ相當ニ發達シテ居ルモノナラハソレハ已ムラ得ヌカ、兎ニ角先キノ見込ハアルカ知ラヌガ、ドウモ今ノ所デハ無イ、況ヤ先キノ見込ト云フコトモ疑ハシイニ於テヤツト云フ意味ノヤウニ聞イテ居リマス、ソレカラ用途ノ點デゴザイマスガ、是ハ物ニ依リマス、全ク内地デ出來ル所ノ生絲ト關係ノ無イヤウナモノニ使フコトガアリマス、例ヘバ肩掛ノ「シヨール」「レース」ト云フヤウナモノニ使フ場合ニ於テハ却ツテ野蠶絲ノ方ガ宜イノデ、内地ノ需要ノ用途ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ言ヘルデセウガ、併シハ交織ニ使ヒマス、又各種ノ織物ノ中ニ入レテ織物トシテ使フ場合ニ於テハ、勢ヒ野蠶絲ト云フモノガ或ル程度マデハ製絲紡績等ノ競争物ニナルコトハ免カレヌコトヲラウト思ヒマス

○濱口吉右衛門君 唯今、柞蠶ノコトニ付キマシテ政府委員ノ御説明ハ後來見込ガアルト云フ御話デゴザイマシタガ、私ドモノ聞ク所ニ依リマス、日本ニ到底、柞蠶ハイカヌ、何故イカヌト云フコト、ドウモ蜂ノ害、此蜂ヲ防グコトガ出來ナイノデ、到底、日本ニハ柞蠶ハ前途望ミガ無イ、斯ウ云フヤウニ承ツテ居リマスガ、ドウ云フ御調べデアリマスカ

○政府委員(下岡忠治君) 是マデ度々柞蠶ト云フモノハ、日本デモ飼養イタマシタガ、御説ノ通りニ蜂ノ害等ノ爲ニ、ドウモ思フヤウニ行キマセヌノデ、是カラドウモ絶對ニ

見込ハ無イト云フ積リテハゴザイマセヌガ、柞蠶ソレ自ラヲ飼育スルコトハ、餘リ望ミノ多イ方デハナイト云フ考デアリマス、無論地方ニ依リマシタナラバ、多少出來ルト云フ見込ハゴザイマセケレドモ、大ニ之ヲ普及セシムルト云フ方ノ望ミハ無イト云フ考デアリマスガ、唯今私ノ申シマシタ方ハ、柞蠶ソレ自ラ繭ヲ拵ヘルモノニアラズシテ、繭ニ原料ヲ入レマシテ製絲スル方ノ點デゴザイマス、製絲スル方ニ於テハ、日本デ相當見込ガアルデアラウト云フコトヲ申シタデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 八類、九類ハ御質問ハアリマセヌカ、ソレデハ次ニ移リマス、第十類

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第十類ハ別ニ申上ケル程ノコトモアリマセヌノデ、謂ハユル附屬品デアリマシテ、此中ニハ各種ノ嗜好品、贅澤品ガ包含サレテ居ルモノデアリマス、直接ノ消費ニ屬スル品物デアリマス故ニ、稅率ハ四割乃至、奢侈品ニ至ツテハ五割ノ課稅ヲ致シテアリマス、此稅率ハ大體現行ノ稅率ト、大低同ジラウト申上ゲテ宜シウゴザイマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ次ニ移リマス、第十一類

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 十一類製紙用ノ原料、紙ノ製品等デアリマス、其中重モナルモノハ初メノ方ニアリマス所ノ、印刷料紙其他ノ紙類デアリマス、紙ニ付キマシテハ現今外國トノ協定ガアリマシテ、大體一割ノ協定ガ行ハレテ居ルデアリマス、今度ノ改正案ニ付キマシテハ、他ノ品物トノ權衡ヲ見マシテ、普通ノ紙類ハ二割、又其紙ニ色ノ加工ヲ致シタ所ノ紙ハ、ソレヨリ少シク稅率ヲ上ゲ、又其紙ヲ以テ或ル品物ヲ造ツタモノニナリマシテ、詰リ一段稅ヲ上ゲテ三割乃至四割ト云フ風ニ稅率ヲ定メタデアリマス、此印刷料紙ニ付イテ、衆議院ノ修正モアリマス、三六二、印刷料紙ノ第一ノ「アートペーパー」ト云フモノ、原案ヨリ稅率ヲ縮メマシテ、三割一分五厘ニ致シテ二圓四十錢ト致シテアリマス、又二ノ「其他」ノ「甲」ノ「有色」モノ、之ヲ二割ト原案ニアリマシタノヲ、一割五分ニ致シテ一圓二十錢ニ減ジタ、ソレカラ二ノ「乙」ノ「ロ」ニ「二圓二十錢」ト云フモノ、此修正ノ理由ハ印刷料紙ノ中、「アートペーパー」トカ云フヤウナモノハ、未ダ日本ノ製紙ノ技術デハ力ガ及バナイ、外國ノ輸入品ニ待タネハナラヌモノデアリマス、又乙ノ「有色」モノモ同様デ、日本ノ製紙會社デハ唯今ノ所ハ造リ得ヌモノデアリマス、斯様ナモノハ餘リ稅ヲ高クスルコトハ、穩當デ無イト云フ趣意カラ減ジマシタデアリマス、ソレカラ乙ノ「ロ」デアリマス、是ハ二ニ舉ゲテアリマス所ノ紙ヨリハ、少シク厚イ所ノ紙デアリマス、是等ハ前ノ「アートペーパー」並ニ有色ノ紙ヲ減ジマシタト同様ノ趣意デ、少シク減ズルカ宜カラウト云フコトヲ修正ニナツテ居ルモノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ修正ハ、二八六ノ寫眞用ノ紙デアリマス、此中ノ四ヲ削除シタデアリマス、是ハ一體申シマス、原案ノ調査ノ上ニ於テ、不十分デアツタ所ガアツタデアリマス、是レハ斯ノ如ク修正ニナルノモ相當ト考ヘテ居リマス、前ノ印刷料紙修正モ政府ハ強ヒテ反對ヲ致シマセヌデアリマス

○男爵高木兼寛君 紙類ガ澤山輸入サレルト云フコトハ明カナコトデアリマスガ、其中デ日常使ヒマス巻紙及封筒ノ類ガ澤山輸入サレテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、其高ト云フモノハドウ位マデニナルモノデアリマスカ、チヨット御分リニナツテ居リマスナラ伺

ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ御問ヒノ紙ハ、多分模造日本紙ト云フノデア
ラウト思フ、是ハ獨逸、埃匈牙利等カラ這入ッテ參リマス、模造日本紙ノ重モニ入ルノ
ハ、其二箇國デアリマス、四十一年、近イ所テ申シマス、八十六萬圓バカリ這入ッテ
居リマス

○男爵高木兼寛君 封筒モ一緒デアリマスカ、……我々ハ一向知ラズニ居ッタデス、ト
コロガ日々ノ封筒ヤ卷紙ヲ使フノヲ、是ハ獨逸、或ハ埃地利製デアルト云フコトヲ承ッテ
驚イタ、コンナモノマデモ油斷シテ、彼等ノ商賣品トナルカト思ツタヤウナ次第デアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今御問ヒノ封筒ト云フノハ、例ノ書狀用封筒デア
リマスカ

○男爵高木兼寛君 左様デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是ハ這入ッテ居ラヌヤウデアリマス、封筒トナッテ這入
ルモノハ至ッテ少ナイノデアゴザイマスガ、封筒ニ使ヒマス紙デアリマス、ソレハチヨット其封筒
用ニ使フ紙ガドノ種類デアアルカト云フコトハ、茲ニ材料ヲ持チマセヌカラ、後ニ調ベマシテ
御答イタシマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレハ次ニ移リマス、第十二類及第十三類

○下條正雄君 チヨット、此十一類チヨット……

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレハ十一類カラ十三類マデ合セテ問題ニ致シマス、
今政府委員ノ説明ガゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 十二類ハ礦物及礦物製品デアリマス、是ハ天産品又
ハソレニ少シクエラ加ヘタルモノ各種ノ物ガ有リマスガ、多クハ矢張り製造工業ノ原料ト
ナルモノデアリマス、是等ハ物ニ依ッテハ無稅若クハ五分或ハ一割ト云フ輕イ稅ヲ課スル
コトニ致シタノデアリマス、此類ノ中ニハ現行法ト比ベマスト云フト、大分有稅ノ物ヲ無
稅ニ致シタ點ガアリマス、ソレハ矢張り先刻申シマシタ所ノ趣意カラ致シタ次第デアリマ
ス、ソレカラ第十三類ニ參リマス、陶磁器、硝子及硝子製品、是ハ前ノ十二類ニ比
ベマスト云フト、各種ノ品物ガ、品物自身ヲ見マスト云フト或ル物ハ既ニ全製品ト申シ
テモ宜シイノデアリマスケレドモ、其全製品ガ又他ノ用途ニ供セラレル、他ノ物ヲ製造
スルニ使ハレル物デアルト云フ物ガ大分有リマスルノデ、此十三類ノ稅率モ、大體ニ於テ
ハ比較的輕イ稅率ヲ適用シテ居リマス、併ナガラ既ニ完全ナル製品トナッタ物ニ付イテ、
其物ニ貴金屬類ヲ用井タ物ナドニナルト、矢張り五割マデノ高イ稅ヲ課シデアリマス、此
十三類ノ中ニ於テ、關係ノ大キイモノハ、四百四十四ノ硝子板デアルト存シマス、其外
一々申上ゲル程ノコトハゴザイマセヌ

○下條正雄君 第十一類或ハ第十二類等ノ所ニ於テハ、少シク質問モシテ見タイト
思ヒマスケレドモ、少シク下見ヲシナイト、又抄ラヌヤウナ都合モアリマスルガ、大抵今日
ハ此邊テ御止メニナッテ、又更ニ御開キニナルヤウナコトハ如何デゴザイマセウカ

(贊成「下呼フ者アリ」)

○委員長(侯爵黒田長成君) 御諮リ致シマス、唯今ノ下條君ノ希望ニ贊成ノ諸君
ハ手ヲ御擧ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(侯爵黒田長成君) 大多數ト認メマスカラ、今日ハ是テ止メマシテ次會ハ
明後日、月曜日、議事散會後ト致シ置キマス、本日ハ散會
午後二時五十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵黒田 長成君

委員

伯爵松本 宗隆君 伯爵寺島誠一郎君 子爵曾我 祐準君

子爵牧野 忠篤君 男爵小澤 武雄君 前田 正名君

男爵茂木 惟昭君 男爵高木 兼寛君 男爵沖 守固君

男爵田 健治郎君 男爵目賀田種太郎君 男爵吉川 重吉君

男爵本多 政以君 中島 永元君 千坂 高雅君

鯨島武之助君 關 清英君 山本 達雄君

室田 義文君 下條 正雄君 鎌田 榮吉君

濱口吉右衛門君 桑田 熊藏君 下郷 傳平君

國務大臣 伯爵小村壽太郎君 農商務大臣 男爵大浦 兼武君

外務省通商局長 萩原 守一君 北海道廳長官 河島 醇君

大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君 大藏書記官 野中 清君

農商務省商務局長 大久保利武君 農商務省農務局長 下岡 忠治君

明治四十三年三月十三日印刷

明治四十三年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局